



教科書ぴったりトレーニング

まるつけラクラクかいとう

この「まるつけラクラクかいとう」は
とりはずしてお使いください。



東京書籍版
算数1年

「まるつけラクラクかいとう」では問題と同じ紙面に、赤字で答えを書いています。

おうちのかたへ では、次のようなものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- ・まちがいやすいことやつまづきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

11 おおきさくらべ (1)

ぴったり1

46 ページ

① ながい ほうに ○ を つけましょう。

① あか あお ○
あか あか ○

② たて よこ ○
たて よこ ○

③ あか あお ○
あか あか ○

② ながい ほうに ○ を つけましょう。

あか あお ○
あか あか ○

ぴったり2

47 ページ

① ながい ほうに ○ を つけましょう。

① あか あか ○
あお あお ○

② あか あお ○
あか あか ○

② ながい じゆんに ㊦、㊧、㊨ を かきましよう。

あか あお ○
あか あか ○

ぴったり1

48 ページ

① おおく はいる ほうに ○ を つけましょう。

① あか あお ○
あか あか ○

② あか あお ○
あか あか ○

③ あか あお ○
あか あか ○

ぴったり2

49 ページ

① どちらが どれだけ おおく はいりますか。

① あか あお ○
あか あか ○

② あか あお ○
あか あか ○

③ あか あお ○
あか あか ○

見やすい答え

くわしいてびき

おうちのかたへ

ぴったり1

- ① 長さを直接比べます。
- ① 端が揃っているから、青のほうが長いことがわかります。
- ② 縦と横を直接重ねて比べます。
- どの長さが縦で、どの長さが横になるのかもしっかり理解しましょう。
- ③ まっすぐにして、端を揃えて比べます。
- ② 方眼のます目を使って、長さをますのいくつ分で表し、数で長さを比べます。
- ㊦は6つつ分、㊧は8つつ分だから、㊧のほうが長いことがわかります。

ぴったり2

- ① ① まっすぐにして、端を揃えて比べます。
- ② 輪飾り1つの大きさは、どれも同じと考えて、輪飾りの数で長さを比べます。㊦は9つつ分、㊧は6つつ分だから、㊦のほうが長いことがわかります。
- ② 比べるものが3つになっても、比べ方は同じです。㊦は5つつ分、㊧は7つつ分、㊨は10個分です。数の多い順に記号を書きましょう。

ぴったり1

- ① ① 同じ大きさの容器に移すと、水面の高さでかさを比べることができます。
- ② コップを使って、かさをコップのいくつ分で表し、コップの数でかさを比べます。
- ㊦は8杯分、㊧は7杯分だから、㊦のほうがかさが多いことがわかります。
- ② ㊦は6杯分、㊧は5杯分です。
- ③ 箱のかさの大きい小さいは、重ねると比べられます。

ぴったり2

- ① ㊦は8杯分、㊧は10杯分です。
- ② 比べるものが3つになっても、比べ方は同じです。コップのいくつ分で表したとき、数がいちばん多いものが答えになります。
- ③ 重ねると、ロールケーキが入っている箱のほうが大きいことがわかります。

おうちのかたへ

長さやかさを、数に置き換えたりすることは、これから学習する長さやかさの単位の土台となります。

1 なかまづくりと かず

ぴったりに1

2 ページ

① えの かずだけ ○をぬりましょう。
えを |こずつ ちびで あそぶながら、○を |こずつぬりましょう。

② 5までの すうじをかきましょう。

いち	1	1	1	1	1
に	2	2	2	2	2
さん	3	3	3	3	3
し	4	4	4	4	4
ご	5	5	5	5	5

ぴったりに2

3 ページ

① えの かずだけ ○をぬりましょう。

② おなじ かずを \rightarrow で おすびしましょう。

③ かずを すうじで かきましょう。

ぴったりに1

4 ページ

① 5は いくつと いくつですか。

② いくつと いくつで 5に なりますか。

ぴったりに2

5 ページ

① あと いくつで 5に なりますか。

② 5は いくつと いくつですか。

③ 5に なるように、 \rightarrow で おすびしましょう。

ぴったりに1

① 1~5の数について、具体物(左の絵)と○を |対| に対応させる問題です。
絵を |個ずつ指で押さえながら、○を |個ずつ塗るようになります。

② 1~5の数について、数字で正しく書けるように練習します。書き始めと、書く向きに気をつけます。3がEにならないようにすること、4と5は、書き順にも注意しましょう。

ぴったりに2

① ○を塗るとき、同じ数だけ塗っていれば、どのような塗り方でも間違いではありませんが、左上から横に順に塗っていくのがよいでしょう。

② 「ネコの数はいくつかな。」と問い、絵を指で押さえながら、「いち、に」と唱えさせ、図(●)と数字を結びようにさせるとよいでしょう。

③ 例えば、「コップの数はいくつかな。」と問い、「さん」と唱えさせながら、「3」と書くようにさせましょう。

ぴったりに1

① 「5はいくつといくつ」を考える問題です。
実際におはじきを使って調べるのもよいでしょう。並べ替えても、それぞれの色の個数は変わりません。

② 「5は1と4」という「分解」の見方と、「1と4で5」という「合成」の見方を身につけ、数の感覚を養いましょう。

おうちのみなへ

5の分解・合成が、すらすら言えるようになるまで練習させましょう。

ぴったりに2

① p.4の①のように、おはじきを並べたり、おはじきを頭の中でイメージしたりして考えさせましょう。

② これも①と同じで、「5はいくつといくつ」を考える問題です。
全部できたら、5の分解をほかにもつくってみましょう。

③ さいころの目を見ながら、「2はあといくつで5になるかな。」と問い、「あと3。」と声に出して答えさせるるとよいでしょう。

ぴったり1

6 ページ

◎めあて
ものの数と同じ数だけ○に色を塗り、6~10の数をとらえられるようにします。わんしゅう

えの かずだけ ○をぬりましょう。
さようかしよ16ページで、○のぬりかたをまなぼう。

◎めあて
10までの数について、数字を書けるようにします。わんしゅう

10までのすうじをかきましょう。

ろく	6	6	6	6	6
しち	7	7	7	7	7
はち	8	8	8	8	8
く	9	9	9	9	9
じゅう	10	10	10	10	10

ぴったり2

7 ページ

えの かずだけ ○をぬりましょう。
さようかしよ16ページで、○のぬりかたをまなぼう。

おなじ かずを せんで おすびましょう。
さようかしよ14~17ページで、かずの かぞえかたや すうじをまなぼう。

かずを すうじで かきましょう。
さようかしよ16~17ページで、すうじの かきかたをまなぼう。

ぴったり1

8 ページ

◎めあて
6を2つの数に分けることができますようにします。わんしゅう

6は いくつと いくつですか。

①	5	と	1
②	4	と	2
③	2	と	4
④	3	と	3
⑤	5	と	1

◎めあて
7を2つの数に分けることができますようにします。わんしゅう

あと いくつで 7に なりますか。

①	6	と	1
②	5	と	2
③	4	と	3
④	3	と	4
⑤	1	と	6
⑥	2	と	5

ぴったり2

9 ページ

いくつと いくつで 6に なりますか。
さようかしよ18~19ページで、6は いくつと いくつか かんがえよう。

あわせて 7に なるように、いろをぬりましょう。
さようかしよ20~21ページで、7は いくつと いくつか かんがえよう。

に あう かずを かきましょう。
さようかしよ18~21ページで、6、7は いくつと いくつか かんがえよう。

ぴったり1

6~10の数について、具体物(左の絵)と○を1対1に対応させる問題です。
数が多くなってくるので、絵を1個ずつ指で押さえながら、○を1個ずつ塗るようにすると、数え間違いを防ぐことができます。
6が0にならないように、数字の形はもちろんのこと、7、8、9、10は、書き順にも気をつけて、正しく書けるようにしましょう。

ぴったり2

5より大きい数はできるだけ、上の段を5、下の段を1などと塗るようにしましょう。
具体物を指で押さえながら、「1、2、3、……」と数えるとよいでしょう。
10は、1ますに数字を2つ書くので、「1」の書き出しを□の真ん中にする、はみ出してしまいます。「1」だけを書くときよりも、書き出しの位置を左にするとよいことを助言しましょう。

ぴったり1

「6はいくつといくつ」を考える問題です。5の場合と同じように6もいくつといくつに分けて書くことができます。
7は1と6、7は2と5、7は3と4、……、とすらすら言えるようにしておきましょう。

ぴったり2

p.8のように、おはじきを並べたり、おはじきを頭の中でイメージしたりして考えさせましょう。
●の数を見ながら、①「6と1で7」、②「2と5で7」と声に出して答えさせましょう。
右のような図で、分解や合成の練習をして、図がなくても頭の中でできるようにしていきましょう。

ぴったり1

10 ページ

①めあて
8を2つの数に分けることができるようにします。

8は いくつと いくつですか。

1と7
5と3
3と5
4と4
2と6

②めあて
9を2つの数に分けることができるようにします。

あと いくつで 9に なりますか。

1と8
6と3
5と4
3と6
2と7
7と2

ぴったり2

11 ページ

8に なるように、 \rightarrow で むすびましょう。

9に なるように、 \rightarrow で むすびましょう。

に あう かずを かきましよう。

① 8 ② 9 ③ 9

4 4 6 3 2 7

ぴったり1

12 ページ

①めあて
10を2つの数に分けることができるようにします。

10は いくつと いくつですか。

1と9
2と8
3と7
4と6
5と5
6と4
7と3
8と2
9と1

ぴったり2

13 ページ

10に なるように、 \rightarrow で むすびましょう。

に あう かずを かきましよう。

2と5で7 3と6で9
4と4で8 9と1で10

ぴったり1

「8はいくつといくつ」を考える問題です。「8は1と7」とみる「分解」の見方と、「1と7で8」とみる「合成」の見方の両方ができるようになることが、今後の学習の基礎となります。

「9はいくつといくつ」を考える問題です。9は1と8、9は2と7、9は3と6、……、と声を出して練習しておくといよいでしょう。

ぴったり2

「8はいくつといくつ」を考える問題です。さいころの目を見ながら、「2はあといくつで8になるかな。」と問い、「あと6。」と声を出して答えさせるとよいでしょう。

9の合成ができるかを確認める問題です。まず、5はあといくつで9になるかを考えましょう。

全部できたら、8、9の分解をほかにもつくってみましょう。

ぴったり1

見えている算数ブロックと隠れている算数ブロックの数を使って、「10はいくつといくつ」を考えます。10の合成・分解は、このあと学習する繰り上がりのあるたし算で役に立ちます。

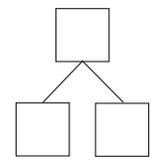
おうちのかなへ

ゲーム感覚で、折に触れて、「10は8といくつ?」のように問題を出してみたり、「10になる数の組み合わせは?」などと問いかけてみるのもよいでしょう。

ぴったり2

p.12のように算数ブロックを使ったり、右のような図を使ったりして、10の分解や合成を繰り返し練習しておくといよいでしょう。

10までの数の構成的な見方を身につけて、数を数える問題です。絵を見て、「○と○で○」と唱えながら、全体の数を書かせるとよいでしょう。



ぴったりに1

14 ページ

①めあて
1から10までの、数の大小がわかるようにします。

かずのおおきいほうに○をかきましょう。

②めあて
1から10までの、数の順序がわかるようにします。

③めあて
何もないことを、数字で0と表すことを理解します。

かずをすうじてかきましょう。

ぴったりに2

15 ページ

かずのおおきいほうに○をかきましょう。

④めあて
あうかずをかきましょう。

⑤めあて
たまのかずをすうじてかきましょう。

ぴったりに3

16~17 ページ

かずをすうじてかきましょう。

⑥めあて
あめのかずをすうじてかきましょう。

③めあて
あうかずをかきましょう。

④めあて
かずのおおきいほうに○をかきましょう。

⑤めあて
あうかずをかきましょう。

⑥めあて
みぎのかずを1ずついれて、8と10をつくりましょう。

ぴったりに1

- 10までの数の大小を比べる問題です。「●が7個で7、●が6個で6、6より7のほうが大きい。」のように説明させながら、○を書かせるようにするとよいでしょう。
- 10までの数の系列を考える問題です。1、2と連続していることから、左から右へ1ずつ大きくなっていることに気づかせます。
- 0という数についての問題です。1つもないことを「れい」といい、「0」と書きます。

ぴったりに2

- が4個で4、4より5のほうが大きいから、5のほうに○を書きます。
- 系列の問題は、まず、連続している数から、だんだん大きくなっているのか、だんだん小さくなっているのかを考えます。そして、「3、4、5、……」のように唱えながら、□に数を書くようにします。
- 0を正しく読め、正しく書けているかどうか、確認するようにします。

ぴったりに3

- 絵を見て集合をつくり、集合(種類)ごとに数を数えて、数字で書きます。数え忘れたり、2回数えたりしないように、1個ずつ絵に印をつけながら数えさせましょう。
- ④あめが1個もありません。その場合は、何も書かないのではなく、「0」と書くことを確認しましょう。
- この段階では、念頭で10の分解ができることが望ましいですが、算数ブロックを見て考えてもよいです。
- 理解が不十分な場合は、算数ブロック

- やおはじきを並べて、数の大きさを見せるようにするとよいでしょう。
- 10までの数の系列が理解できているかを確認する問題です。5、6、7、8と連続していることから、左から右へ1ずつ大きくなっていることに気づかせます。
- 8、10の合成を考える問題です。「8、10はいくつといくつ」を考えながら組み合わせを考えます。

2 なんばんめ

ぴったり1

18 ページ

① ○で かこみましょう。

① まえから 4 ひき

② まえから 4 ひきめ

② えをみて きたえましょう。

① は、うえから 2 ばんめです。

② は、したから 2 ばんめです。

③ は、うえから 3 ばんめ、
したから 3 ばんめです。

ぴったり2

19 ページ

① ○で かこみましょう。

① まえから 5 にん

② まえから 5 にんめ

② えをみて きたえましょう。

① は ひだりから なんばんめですか。

② は どこに ありますか。

③ は どこに ありますか。

ぴったり3

20~21 ページ

① ○で かこみましょう。

① まえから 3 だい

② まえから 3 だいま

② えをみて きたえましょう。

① まみさんは、まえから 5 ばんめです。

② たくやさんは、うしろから 3 ばんめです。

③ えをみて きたえましょう。

① くまは、ひだりから なんばんめですか。

② くまは、みぎから なんばんめですか。

③ すずめは、うえから なんばんめですか。

④ からすは、したから なんばんめですか。

⑤ はとは どこに いますか。

ぴったり1

- 前後に関わる順序や、位置の表し方についての問題です。「前から4匹」と「前から4匹目」の違いに注目させます。「前から4匹」で囲むのは、4匹です。「前から4匹目」で囲むのは、1匹だけです。
- 上下に関わる順序や位置の表し方についての問題です。問題文をよく読み、どこから数えるのかに注意します。

ぴったり2

- 「前から5人」で囲むのは、5人です。「前から5人目」で囲むのは、1人だけです。
- まず、左右を正しく認識できているかどうかを確認しましょう。
 - ピーマンは、左から、1、2、3、4で、4番目です。
 - 左と右、どちらから数えるかで、答えが変わります。同じ位置でも2通りの表現ができることに気づかせます。どちらの答えを書いても正解です。

ぴったり3

- 「前から○台」と「前から○台目」、「下から○番目」を、絵に正しく表せるかを確認する問題です。
 - 「前から3台」で囲むのは、3台です。
 - 「前から3台目」で囲むのは、1台だけです。
- どちらから数えるかに注意しましょう。
- 左右、上下に関わる順序や位置の表し方を考える問題です。「左から」、「右から」、「上から」、「下から」と、いろいろな表し方が

出てきます。問題文を注意深く読むようにアドバイスするとよいでしょう。

⑤ハトは、上から2番目で、下から3番目です。
どちらの答えを書いても正解です。

3 あわせて いくつ ふえると いくつ

ぴったり1 22 ページ

① あわせると、なんぼんに なりますか。

しき $2 + 3 = 5$
こたえ 5 ほん

② 3 ひき くと、なんびきに なりますか。

しき $4 - 3 = 1$
こたえ 1 ひき

ぴったり2 23 ページ

① みんなで なんにんに なりますか。

しき $2 + 4 = 6$
こたえ 6 にん

② しきに かいて こたえましょう。

しき $3 + 6 = 9$
こたえ 9 わ

③ たしざんを しましょう。

① $1 + 3 = 4$ ② $2 + 5 = 7$
③ $3 + 4 = 7$ ④ $6 + 3 = 9$
⑤ $5 + 3 = 8$ ⑥ $4 + 5 = 9$
⑦ $9 + 1 = 10$ ⑧ $2 + 8 = 10$

ぴったり1 24 ページ

① わなげを しました。いれた かずは いくつですか。しきに かきましよう。

しき $2 + 1 = 3$ $3 + 0 = 3$ $0 + 2 = 2$

② $5 + 4 = 9$ の しきに なる たしざんのおはなしを つくりましよう。

あかい はなが 5 ほん、しろい はなが 4 ほん あります。
はなは、**ぜんぶで** 9 ほん あります。
(あわせて、みんなで)

ぴったり2 25 ページ

① きんぎょすくいを しました。すくった かずは なんびきですか。しきに かいて こたえましよう。

しき $0 + 3 = 3$
こたえ 3 びき

② たまいを しました。いれた かずは、 $4 + 0$ の しきに なります。どのように はいったのか、かごの なかに ● を かきましよう。

③ たしざんを しましょう。

① $5 + 0 = 5$ ② $0 + 0 = 0$

④ 24 ページの ② の ねこの えを みて、 $5 + 4 = 9$ の しきに なる たしざんのおはなしを つくりましよう。

(れい)ねこが 5 ひき います。4 ひき きました。
ぜんぶで 9 ひきに なりました。

ぴったり1

- 初めて「式」が出てきます。「たし算」、「式」、「答え」の意味を理解しましょう。「+」はたし算の記号、「=」は、答えを書くときに付ける記号です。また、答えは「5」ではなく、「5ほん」になることも助言しておくといでしょう。「あわせていくつ」(合併)の場面の答えは、たし算の式に書いて求めます。
- 「ふえるといくつ」(増加)の場面の答えも、たし算の式に書いて求めます。

ぴったり2

- 「みんなで何人」(合併)だから、たし算の式です。
- 増加の場面のたし算の問題です。
③わ います。⑥わ きました。
みんなで なんわに なりましたか。演算を決めるキーワードになる語句に下線を引いたり、式に使う数字に○をつけたりして、「ふえるといくつ」(増加)というたし算の場面であること、はじめにあったのは3、増えたのは6であることを押さえます。
- 繰り上がりのないたし算です。

ぴったり1

- 輪が1個も入らなかった場合は、「0個入った」と考えます。0も他の数と同じようにたし算の式に書くことができます。
- 「 $5 + 4 = 9$ 」の式になる問題をつくりましよう。合併の場面のたし算だから、「ぜんぶで」、「あわせて」、「みんなで」などのことばが書けていれば正解です。

ぴったり2

- 0のたし算の場面を絵に表す問題です。0は、玉が1個も入らなかったということです。
- 0のあるたし算です。
- どのような場面かを絵を見て考え、「 $5 + 4 = 9$ 」の式になる問題をつくりましよう。はじめネコが5匹いて、そこへ4匹来たから、増加の場面です。

おうちのかたへ

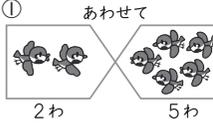
身の回りを見わたして、たし算の式になる問題をつくらせてみるのもよいでしょう。

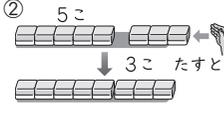
ぴったり3

26~27 ページ

知識・技能 / 60てん

1 えや ぶろっくを みて、しきに かきましょう。
ぜんぶで 1もん10てん(20てん)

① あわせて

 $2+5=7$

② たすと

 $5+3=8$

2 たしざんを しましょう。
1つ5てん(40てん)

① $4+1=5$ ② $1+5=6$
 ③ $7+2=9$ ④ $4+4=8$
 ⑤ $6+4=10$ ⑥ $3+7=10$
 ⑦ $8+0=8$ ⑧ $0+9=9$

思考・判断・表現 / 40てん

3 あおい かさが 4ほん、きいろい かさが 5ほん
あります。かさは、ぜんぶで なんほん ありますか。
しきこたえ 1つ5てん(10てん)

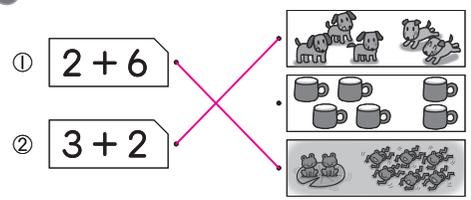
しき $4+5=9$
こたえ 9ほん

4 こどもが 6にん います。3にん きました。
こどもは、みんなで なんにんに なりましたか。
しきこたえ 1つ5てん(10てん)

しき $6+3=9$
こたえ 9にん

5 しきと えを せんで おすびましょう。
しきこたえ 1つ10てん(20てん)

① $2+6$
② $3+2$



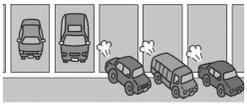
4 のこりは いくつ ちがいは いくつ

ぴったり1

28 ページ

①め形で

「のこりは いくつ」(求残)の場面で、ひき算を使えるようにします。 わんしゅう / 40てん

1 のこりは なんだいに なりますか。

 $5-3=2$
 こたえ 2だい

②め形で

「のこりは いくつ」(求補)の場面で、ひき算を使えるようにします。 わんしゅう / 40てん

2 ねこが 9ひき います。くまは 3びきです。

 $9-3=6$
 こたえ 6びき

ぴったり2

29 ページ

1 しきに かいて こたえましょう。
きょうかしょ14ページ

しき $6-3=3$
こたえ 3にん

2 かっぱが 8こ あります。あおは 4こです。
あおは なんこですか。
きょうかしょ17ページ

しき $8-4=4$
こたえ 4こ

3 ひきざんを しましょう。
きょうかしょ17ページ

① $3-2=1$ ② $8-5=3$
 ③ $7-1=6$ ④ $9-7=2$
 ⑤ $6-5=1$ ⑥ $4-2=2$
 ⑦ $10-4=6$ ⑧ $10-8=2$

ぴったり3

- ①「あわせて」だから、たし算の式です。
②「たすと」だから、たし算の式です。
- この段階で、まだ指を使って数えていたり、数えだし(例えば、5+2を、5、6、7と1ずつたしていき、7と答えること)をしたりしている場合は、算数ブロックの操作を十分に経験させて、念頭で計算できるように練習させましょう。
- 演算を決めるキーワードになる語句(ぜんぶで)に下線を引く、式に使う

数字に○をつけるなどして、4と5をあわせる式になることを押さえます。

- 問題文をよく読み、6に3をたす式になることを確認します。
- たし算の式に合う場面を考える問題です。例えば、イヌの絵からは、次のような場面と式が考えられます。

イヌが3匹います。
2匹来ました。
イヌは、全部で何匹になりましたか。
 $3+2=5$

ぴったり1

- 「のこりはいくつ」(求残)の場面の答えは、ひき算の式に書いて求めます。「-」は、ひき算の記号です。
- 全体の数9から、黒ネコの数3をひいた残りが、虎ネコの数だから、ひき算の式です。求補の場面の答えも、ひき算の式に書いて求めます。

ぴったり2

- 求残の場面のひき算の問題です。「残りは何人」だから、ひき算の式です。
⑥にん います。
③にん かえりました。
のこりは なんにんに なりましたか。
たし算と同じように、キーワードになる語句に印をつけるとよいでしょう。
- 求補の場面のひき算の問題です。全体の数8から、ピンクのカップの数4をひいた残りが、青いカップの数です。

5 どちらが ながい

ぴったり1

34 ページ

① ながい ほうに ○を かきましよう。

② たて (よこ) おつて (か)はなる。

③ ながさを しらべます。

④ ①は ますの 5つぶん、
②は ますの 3つぶん、
③は ますの 4つぶんの ながさです。
いちばん ながいのは、①です。

ぴったり2

35 ページ

① ながい ほうに ○を かきましよう。

② たて (よこ) たて (よこ) ○

③ ながさを しらべます。

④ ①は ますの 4つぶん、②は ますの 5つぶん、③は ますの 3つぶんの ながさです。

⑤ ①と ②では、どちらが ますの いくつぶん ながいでしょうか。
(②の ほうが ますの 1つぶん ながい。)

ぴったり3

36~37 ページ

① ながい ほうに ○を かきましよう。

② ながい じゆんに ①、②、③を かきましよう。

③ ①は ますの 7つ分、②は ますの 5つ分だから、
 $7-5=2$ で、③の ほうが ますの 2つ分 ながいことがわかります。

③ ながさを しらべます。

④ ①は、ますの いくつぶんの ながさですか。
(7つぶん)

⑤ ②は、いちばん ながいのは、①、②、③、④、⑤の どれですか。
(②)

⑥ ③と ④は、おなじ ながさなのは、①、③、④、⑤の どれですか。
(③)

⑦ ④と ⑤では、どちらが ますの いくつぶん ながいでしょうか。
(④の ほうが ますの 2つぶん ながい。)

ぴったり1

- ①一方の端をそろえて、鉛筆の長さを比べています。
- ②横を縦に重ねて、紙の縦と横の長さを比べています。
- ③直接並べて比べられないものの長さをテープに写し取り、そのテープの長さを比べています。
- ④方眼のますを単位として、ものの長さを「ますいくつ分」と表して比べています。

ぴったり2

- ①左端をそろえて、なわとびの縄の長さを比べています。下の縄をぴんと伸ばすと、上の縄より長くなります。
- ②縦の長さ、横の長さを、縦の長さをテープに写し取り、そのテープを横にあてて比べています。
- ③長さを「ますいくつ分」と表して数値化すると、数の大小で比べられます。テープの幅は、長さには関係ありません。

ぴったり3

- ①左端がそろっているから、下の鉛筆のほうが長いことがわかります。
- ②折れ曲がった下の線をまっすぐに伸ばすと、上の線より長くなります。
- ③横を縦に重ねて、レジャーシートをテープに写し取り、そのテープの縦と横の長さを比べています。
- ④車両を単位として、電車の長さを「車両いくつ分」と表して比べています。④は7つ分、⑤は8つ分、⑥は5つ分です。
- ⑤方眼のますを単位として、ものの長さを「ますいくつ分」と表して比べて

- います。
- ⑥④は7つ分、⑦は5つ分だから、
 $7-5=2$ で、⑧の ほうが ますの 2つ分 ながいことがわかります。
- ⑧ 水槽の長さが、テープに写し取った机の横の長さの赤い印より短ければ、はみ出ません。

6 わかりやすく せいりしよう

ぴったりに12

38 ページ

① くだもの かずだけ いろをぬりましょう。

ばな みか いちご
な かん ちご

① うえて いろをぬったのを見て、こたえましょう。

① いちばん おおいものはどれですか。
(いちご)

② いちばん すくないものはどれですか。
(ばなな)

ぴったりに3

39 ページ

① かずを わかりやすく せいりします。

① おかしの かずだけ いろをぬりましょう。

② いちばん おおいものはどれですか。
(あめ)

③ いちばん すくないものはどれですか。
(ぷりん)

④ どうなつ おなじかずのものはどれですか。
(がむ)

⑤ かずは いくつですか。
あめ がむ ぷりん
(7) (5) (4)

7 10より おおきい かず

ぴったりに1

40 ページ

① かずを かぞえましょう。

① 10と2で... **12** (じゅうに)

② 10と10だから... **20** (にじゅう)

① 16は10と **6**

② 18は **10**と8です。

② かくれて いる かずは いくつですか。

① 16は10と **6**

② 18は **10**と8です。

ぴったりに2

41 ページ

① かずを かぞえましょう。

① **17**

② **14**

③ **15**

④ **20**

② いぬは、まえから なんびきめですか。
(まえ) **11**びきめ

③ □に あう かずを かきましよう。

① 10と1で **11** ② 10と4で **14**
③ 17は10と **7** ④ 12は10と **2**
⑤ 19は **10**と9 ⑥ 20は **10**と10

ぴったりに1

① 集合(種類)ごとに分けて整理してまとめます。
下から順に色を塗りましょう。

ぴったりに2

① **ぴったりに1**で整理した絵グラフの長さを比べると、イチゴがいちばん長く、バナナがいちばん短いことがわかります。
バナナは2、ミカンは4、イチゴは5だから、数の大きさを比べて、イチゴがいちばん多いと考えても正解です。

ぴったりに3

① ②③絵グラフの長さから、いちばん多いもの、少ないものがすぐにわかります。
④ドーナツと長さが同じものを答えます。
②~④は、数の大きさを比べて考えても正解です。

おうちのかなへ

1個ずつ絵に印をつけながら色を塗ると、数え忘れたり、2回数えたりする間違いを防ぐことができます。

ぴったりに1

① 20までの数について、具体物(絵)の数を数字で書く問題です。
① 10と2で12(じゅうに)です。「10といくつ」で「じゅういくつ」と読みます。
② 10と10で20(にじゅう)です。
② 20までの数を、「10といくつ」に分解する問題です。



ぴったりに2

① ①10と7で17(じゅうしち)です。
②2、4、6、8、10、12、14で14(じゅうし)です。
③5、10、15で15(じゅうご)です。
② 20までのものの順序を考える問題です。イヌは、前から11番目、「11匹目」です。
③ 例えば、「10と1で□」、「11は10と□」、「11は□と1」という、3つの見方が念頭でできるように、繰り返し練習させるとよいでしょう。

ぴったり 1

42 ページ

◎めあて
数直線(かずのせん)で、20までの数の並び方がわかるようにします。 わんしゅう

1 かずのせんをみて、□にあうかずをかきましょう。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

① かずのせんの はじまりは、0です。

② かずのせんで、みぎに 1 すすむと、かずが 1 おおきくなります。

③ 11より 2 おおきい かずは 13です。

④ 15より 3 ちいさい かずは 12です。

◎めあて
「10といくつ」をもとに、10+4や14-4のような計算ができるようにします。 わんしゅう

2 14は 10と 4です。

① 10に 4を たした かず $10+4=14$ 10と4で…

② 14から 4を ひいた かず $14-4=10$ 14 10と4

ぴったり 2

43 ページ

◎めあて
20より大きい数を数えたり、書いたりできるようにします。 きょうかしよ

1 おおきい ほうに ○をかきましょう。

① 9 13 ② 20 18
() () () ()

2 □にあうかずをかきましょう。

① 13 14 15 ② 18 19 20

◎めあて
けいさん

3 けいさんを しましょう。

① $10+2=12$ ② $10+6=16$

③ $11-1=10$ ④ $18-8=10$ 6から3をひく。

⑤ $15+3=18$ ⑥ $16-3=13$ 10はそのまま、5に3をたす。 10はそのまま。

⑦ $12+7=19$ ⑧ $17-4=13$ 30と5さんじゅうご 35 10が4こ よんじゅう 40

ぴったり 1

44 ページ

◎めあて
20より大きい数を数えたり、書いたりできるようにします。 わんしゅう

1 かずを かぞえましょう。

① 20 と 1 にじゅういち 21

② 10 が 3 こさんじゅう 30

③ 30 と 5 さんじゅうご 35

④ 10 が 4 こよんじゅう 40

ぴったり 2

45 ページ

◎めあて
20より大きい数を数えたり、書いたりできるようにします。 きょうかしよ

1 かずを かぞえましょう。

① 24

② 39

③ 30 と 6 36 ④は、10のまとまりをつくらう。

④ 40

ぴったり 1

- 1 数直線(1年では「かずのせん」)を見て、20までの数について、大小や系列を理解します。
- 数直線は、始まりが0で、右に1進むと、数が1大きくなります。
- ③「2大きい」から、11から右へ2進みます。
- ④「3小さい」から、15から左へ3進みます。

ぴったり 2

- 1 20までの数の大小を比べる問題です。
- 2 20までの数の系列を考える問題です。
- ①「13、14、15」と唱えながら、□に数を書きましょう。
- ③2とびです。「2、4、6、8、10、12、14、16、18、20」と唱えながら、□に数を書きましょう。
- 3 ⑤~⑧「十いくつ+いくつ」、「十いくつ-いくつ」の計算です。10はそのまま、「いくつ+いくつ」、「いくつ-いくつ」を計算します。

ぴったり 1

- 1 20より大きい数は、「何十といくつ」で考えます。
- 書き方や読み方に注意しましょう。
- ①20と1で「21」と書き、「にじゅういち」と読みます。
- ③10が3こで30、30と5で「35」と書き、「さんじゅうご」と読みます。

おうちのかたへ

カレンダーなどには、20より大きい数があります。身の回りにある大きい数にふれ、20より大きい数に慣れさせるようにしましょう。

ぴったり 2

- 1 20より大きい数について、具体物(絵)の数を数字で書く問題です。
- ①10が2こで20、20と4で24です。
- ②10が3こで30、30と9で39です。
- ③10が3こで30、30と6で36です。
- ④ばらが10本で、10のまとまりが1つできます。全部で10のまとまりが4つだから、10が4こで40です。

ぴったり3

46~47 ページ

知識・技能 / 85てん

1 かずを かぞえましょう。 1つ5てん(10てん)

① ② **13** **32**

2 □に あう かずを かきましよう。 1つ5てん(10てん)

① 10と 10で **20**
② 14は **10**と 4

3 おおきい ほうに ○を かきましよう。 1つ5てん(10てん)

① ② **19** **16** **17** **20**

ぴったり3

- 40までの数について、具体物(絵)の数を数字で書く問題です。
①10と3で13です。
②10が3こで30、30と2で32です。
- 20までの数を、「10といくつ」と捉える問題です。
- 間違えた場合は、数直線で数の大きさを確かめさせましょう。
- ①12、14、16と並んでいることから、左から右へ2ずつ大きくなっていくことに気づかせます。

4 □に あう かずを かきましよう。 1つ5てん(15てん)

① **12** **14** **16** **18** **20**
② **17** **16** **15** **14**

5 けいさんを しましよう。 1つ5てん(40てん)

① $10+3=$ **13** ② $12-2=$ **10**
③ $10+7=$ **17** ④ $19-9=$ **10**
⑤ $14+5=$ **19** ⑥ $16-4=$ **12**
⑦ $17+2=$ **19** ⑧ $18-7=$ **11**

思考・判断・表現 / 15てん

6 かずのせんを みて こたえましよう。 1つ5てん(15てん)

17 **21**

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 18 19 20

① □に あう かずを かきましよう。
② □より 3 おおきい かずは 14です。 □は いくつですか。 (11)

- ②15、14と並んでいることから、左から右へ1ずつ小さくなっていくことに気づかせます。
- 「10といくつ」をもとにした、たし算やひき算ができるかどうかを確かめる問題です。
- 数直線上で数の系列を捉え、大小の理解を確認する問題です。
②「3大きい」から、□から右へ3進むと14です。つまり、□は14より「3小さい」から、14から左へ3進みます。

8 なんじ なんじはん

ぴったり12

48 ページ

めねて / ねんしゅう / 時計を見て、「何時」、「何時半」が読めるようにします。

1 とけいを よみましよう。 1つ20てん(40てん)

3じ **3じはん** **4じ**

① とけいを よみましよう。 きょうかしよ49ページ

① **8じ** **1じはん**

2 ながい はりを かきましよう。 きょうかしよ49ページ

① 5じ ② 7じはん

ぴったり1

- 「何時」、「何時半」を学習します。短針の位置が基本になるので、短針、長針の順に見るように助言するとよいでしょう。

ぴったり2

- ①短針は8を、長針は12を指しているから、8時です。
②短針は1と2の間だから、小さいほうの数の1を読みます。長針は6を指しているから、1時半です。

ぴったり3

49 ページ

知識・技能 / 80てん

1 **7じ** **10じはん**

2 ながい はりを かきましよう。 1つ20てん(40てん)

① 1じ ② 6じはん

思考・判断・表現 / 20てん

3 11じはんのとけいはどちらですか。(20てん)

(イ) (ロ)

ぴったり3

- ②短針は10と11の間を、長針は6を指しています。間違えて、「11時半」と答えた場合には、10時→10時半→11時の短針の動きを確認させ、短針は小さいほうの数を読むことを理解させます。
②①「何時」のとき、長針は12です。
②「何時半」のとき、長針は6です。長針をかきこんだ後で、短針が6と7の間にあるから、6時半であることを確認させるとよいでしょう。

9 3つの かずの けいさん

ぴったり1 50 ページ

① めあて 3つの数のたし算ができるようになります。

1 すずめが4わ います。 ねこは、みんなで なんわに なりますか。 1つの しきに かけて、こたえましょう。

しき $4+3=7$

2 わ とんで きます。 $4+3=7$

3 わ とんで きます。 $4+3=7$

4 $4+3+2=9$ は、 まちがだよ。

こたえ 9 わ

② めあて 3つの数のひき算ができるようになります。

2 つばめは、なんわ のこって いますか。 1つの しきに かけて、こたえましょう。

しき $6-1=5$

3 わ とんで きました。 $6-1=5$

3 わ とんで きました。 $6-1=5$

ちいせく かけて おくと いいね。

こたえ 2 わ

ぴったり2 51 ページ

① ねこが 6 ひき いました。そこへ 4 ひき きました。あとから 2 ひき きました。 ねこは、みんなで なんびきに なりましたか。 1つの しきに かけて、こたえましょう。

しき $6+4+2=12$ こたえ 12 ひき

② こどもが 10 にん います。3 にん かえりました。つぎに 4 にん かえりました。 こどもは、なんにん のこって いますか。 1つの しきに かけて、こたえましょう。

しき $10-3-4=3$ こたえ 3 にん

③ けいさんを しましょう。

① $3+2+1=6$ ② $5+3+2=10$

③ $2+8+5=15$ ④ $6+4+7=17$

⑤ $8-3-2=3$ ⑥ $9-5-1=3$

⑦ $19-9-4=6$ ⑧ $18-8-5=5$

ぴったり1 52 ページ

① めあて 3つの数のたし算やひき算の混じった計算ができるようになります。

1 ばすに おきゃくさんが 7 にん のって います。

3 にん おりました。 $7-3=4$

5 にん のります。 $4+5=9$

おきゃくさんは、なんにんに なりますか。 1つの しきに かけて、こたえましょう。

しき $7-3+5=9$

まえから じゆんに けいさんするよ。

こたえ 9 にん

ぴったり2 53 ページ

① あめが 9 こ あります。5 こ たべました。 あとから 4 こ もらいました。 あめは、なんこに なりましたか。

しき $9-5+4=8$ こたえ 8 こ

② いけに かもが 8 わ います。2 わ きました。 つぎに 5 わ いなくなりました。 かもは、なんわに なりましたか。

しき $8+2-5=5$ こたえ 5 わ

③ けいさんを しましょう。

① $6-4+2=4$ ② $10-8+7=9$

③ $10-3+1=8$ ④ $4+5-3=6$

⑤ $3+7-6=4$ ⑥ $5+5-9=1$

⑦ $1+1+1+1=4$ ⑧ $8-2-2-2=2$

ぴったり1

- 1 はじめに4羽いて、次に3羽増えて、最後に2羽増えたから、スズメの数を求める式は、3つの数のたし算になります。 $4+3+2=9$ と、1つの式に書くことができます。
- 2 はじめに6羽いて、次に1羽減って、最後に3羽減ったから、ツバメの数を求める式は、3つの数のひき算になります。 $6-1-3=2$ と、ひき算も1つの式に書くことができます。

ぴったり2

- 1 6匹いたところに4匹増えて、さらに2匹増えたから、 $6+4+2=12$
- $6+4=10$
 $10+2=12$
- 2 10人から3人減って、さらに4人減ったから、 $10-3-4=3$
- $10-3=7$
 $7-4=3$
- 3 はじめの計算の答えを小さく書いておくといでしょう。
- ⑦ $19-9-4=6$
- 10

ぴったり1

- 1 3つの数のたし算とひき算の混じった計算です。これまでと同じように、前から順に2つの数の計算を繰り返します。
- わかりづらい場合は、絵を見たり、文を読んだりして、問題場面通りに算数ブロックを動かしてみるとよいでしょう。

ぴったり2

- 1 9個から5個減って、4個増えたから、 $9-5+4=8$
- $9-5=4$
 $4+4=8$
- 2 8羽いたところに2羽増えて、そこから5羽減ったから、 $8+2-5=5$
- $8+2=10$
 $10-5=5$
- 3 はじめの計算の答えを小さく書いておき、続けて後の計算をしましょう。
- ② $10-8+7=9$
- 2

ぴったり3

54~55 ページ

知識・技能 / 50てん

1 けいさんを しましょう。
 ① かるがもは、みんなで なんわに なりましたか。
 4わ います。 2わ きました。 1わ きました。
 しき $4+2+1=7$ こたえ 7わ

② くっきいは、なんこ のこって いますか。
 7こ あります。 3こ たべました。 2こ たべました。
 しき $7-3-2=2$ こたえ 2こ

2 けいさんを しましょう。
 ① $5+2+3=10$ ② $9+1+6=16$
 ③ $7-1-5=1$ ④ $14-4-7=3$
 ⑤ $5-4+7=8$ ⑥ $10-6+3=7$
 ⑦ $3+6-5=4$ ⑧ $6-2-2-2=0$

思考・判断・表現 / 50てん

3 おはじきを 7こ もって います。
 3こ もらいました。あとから 5こ かいました。
 おはじきは、なんこに なりましたか。
 しき $7+3+5=15$ こたえ 15こ

4 こうえんに こどもが 10にん います。
 5にん かえりました。つぎに 4にん きました。
 こどもは、なんにんに なりましたか。
 しき $10-5+4=9$ こたえ 9にん

5 $4+2-3$ の しきに なる おはなしは、
 ①と②の どちらですか。
 ① ② ③
 4ほん あります。 2ほん あげました。 3ほん もらいました。
 ② ③
 4ほん あります。 2ほん もらいました。 3ほん あげました。

10 どちらが おおい

ぴったり12

56 ページ

①めねて / 56ページ

単位を決めて、そのいくつ分で水のかさが比べられるようにします。

1 ①と②にはいつている みずは、どちらが どれだけ おおいでしょうか。
 ① ②
 ① ②
 ①の ほうが 2 はいぶん おおい。

2 おおい ほうに ○を かきましょう。
 ① ②
 () () () ()

3 はいる みずが いちばん おおいは、①、②、③の どれですか。
 ① ② ③
 () () ()

ぴったり3

57 ページ

知識・技能 / 60てん

1 はいる みずが おおい ほうに ○を かきましょう。
 ① ②
 () () () ()

2 ①と②にはいつている みずは、どちらが どれだけ おおいでしょうか。
 ① ②
 () () () ()

思考・判断・表現 / 40てん

3 はいつて いる みずは、①の ほうが おおいと いえますか。わけも かきましょう。
 ① ②
 いえるか、いえないか。 わけ
 いえない。(れい)ちがう おおきさの こっぶで くらべて いるから。

ぴったり3

- ①増えて、さらに増える場面です。
②減って、さらに減る場面です。
- はじめの計算の答えを小さく書いておき、続けて後の計算をすると、計算の間違いを減らせます。慣れてきたら、はじめの計算の答えを書かなくても、続けて計算できるようにしましょう。
②や④のように、はじめの計算の答えが10になる計算は、この後学習する、繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算で役立ちます。

- ⑧4つの数の計算も、前から順に計算します。
- ⑤ ①の絵は、4本から2本減って、3本増えたから、1つの式に書くと、 $4-2+3=5$ です。
②の絵は、4本あったところに2本増えて、そこから3本減ったから、1つの式に書くと、 $4+2-3=3$ です。

ぴったり1

- 1 コップを単位として、水のかさ(体積)を「コップいくつ分」として比べています。「いくつ分」と数値化すると、水のかさを数の大小で比べられます。
 $6-4=2$ で、①のほうがコップ2杯分多いことがわかります。

ぴったり2

- 1 ②水の高さが同じだから、容器の底面積が大きいほうが、水のかさが多いといえます。

ぴったり3

- 1 ①②の水を③に移しかえています。あふれているから、①に入っていた水のほうが、③に入る水よりも多いことがわかります。
②③と④に入った水を、同じ容器に移して比べています。容器の底面積が同じだから、高さが高い③のほうが、水のかさが多いといえます。
- 3 単位となるコップは、同じ大きさのものを使わないと、水のかさを比べることはできません。

11 たしざん

ぴったり1

58 ページ

① 9+5 の けいさんの しかたを しらべましょう。
 ① 9は あと 1で 10。
 ② 5を 1と 4に わける。
 ③ 9に 1を たすと 10。
 ④ 10と 4で 14。

② 3+8 の けいさんの しかたを しらべましょう。
 ① 8は あと 2で 10。
 ② 3を 1と 2に わける。
 ③ 8に 2を たすと 10。
 ④ 1と 10で 11。

ぴったり2

59 ページ

① けいさんを しまししょう。
 ① $9+3=12$ ② $8+5=13$
 ③ $7+4=11$ ④ $8+7=15$

② けいさんを しまししょう。
 ① $2+9=11$ ② $4+8=12$
 ③ $6+8=14$ ④ $5+6=11$

③ おとなが 7にん います。こどもが 6にん います。ひとは、みんなで なんにん いますか。
 しき $7+6=13$ こたえ 13にん

④ おなじ こたえの かあどを、せんで むすびましょう。
 $9+7$ $5+8$ $7+8$ $5+9$
 $9+4$ $8+8$ $7+7$ $6+9$

ぴったり3

60~61 ページ

① □に あう かずを かきましよう。
 ① $8+6$
 $8+6$
 2 4
 ② $3+9$
 $3+9$
 2 1

② $8+6$ ③ $9+6=15$
 ③ $7+9=16$ ④ $6+7=13$
 ④ $8+9=17$ ⑤ $4+9=13$
 ⑤ $8+3=11$ ⑥ $5+7=12$

3 そらさんは、きのう つるを 6わ、きょう 9わ おりました。あわせて なんわ おりましたか。
 しき $6+9=15$
 こたえ 15わ

4 きんぎょを 8ひき かって います。4ひき もらいました。きんぎょは、ぜんぶで なんびきに なりましたか。
 しき $8+4=12$
 こたえ 12ひき

5 したのような 9まいの かあどを つかって、(れい)のように、こたえが 15になる たしざんの しきを、2つ つくりましよう。
 ① $9+6=15$ ② $6+9=15$

ぴったり1

- (1けた)+(1けた)で、繰り上がりのあるたし算です。たされる数のほうが10に近いので、たす数を分解して、10のまとまりをつかって計算します。
- (1けた)+(1けた)で、繰り上がりのあるたし算です。たす数のほうが10に近いので、たされる数を分解して、10のまとまりをつかって計算します。

ぴったり2

- ③ 7はあと3で10。4を3と1に分ける。7に3をたすと10。10と1で11。
- ② 8はあと2で10。4を2と2に分ける。8に2をたすと10。10と2で12。
- 合併の場面です。たし算で求めます。正しく式に書きましよう。
- たし算の計算カードの式を見て、答えを言う練習をしまししょう。

ぴったり3

- ① たされる数を10にします。
- ② たす数を10にします。
- 合併の場面です。たし算で求めます。正しく式に書き、10のまとまりをつかって計算しまししょう。
- 増加の場面です。たし算で求めます。
- 6+9、7+8、9+6 の3つのうちの2つが書けていれば正解です。2つ正しくつくれたら、他にはないか、考えさせてみてよいでししょう。

12 かたちあそび

ぴったり1

62 ページ

立体図形の特徴をとらえ、仲間分けできるようにします。

1 みぎの ①から ④の かたちを、つぎの 4 つのかたちの なかまにわけましょう。

① つつのかたち ② ぼうるのかたち ③ はこのかたち ④ さいころのかたち

① (う) と (か) ② (い) と (お) ③ (え) と (き) ④ (あ) と (く)

2 ころがる かたちに ○ を かきましよう。

① ② ③ ④

立体図形を構成している面の形がわかるようにします。

3 つみきを つかってかみに かたちをうつつしました。うつつた かたちを せんで むすびましよう。

ぴったり2

63 ページ

1 おなじ かたちの なかまを せんで むすびましよう。

2 たかく つめる かたちは、①、②、③、④、⑤のどれですか。ぜんぶ えらびましよう。

3 ①を つかって かたちを うつつします。かけない かたちは、②、③、④、⑤のどれですか。2 つ えらびましよう。

ぴったり3

64~65 ページ

1 おなじ かたちの なかまを せんで むすびましよう。

2 うつつた かたちを せんで むすびましよう。

3 ①、②、③、④の つみきを つかって、みぎの えをかきました。

えの なかの ①、②、③、④の かたちは、①、②、③、④の つみきを つかって かきましたか。

① (い) ② (あ) ③ (う) ④ (あ)

4 けんさんは、みのまわりに ある かたちを、2 つの なかまに わけました。

① どのように わけましたか。

(れい)⑥は、まるい ところがある かたちの なかまで、⑦は、まるい ところがない かたちの なかまでです。

② みぎの かたちは、⑧、⑨の どちらの なかまでですか。

ぴったり1

- 1 いろいろな色、大きさ、材質の立体がありますが、形の特徴から、大きく次の4つに分類できます。
A「ぼうるのかたち」(球)
B「つつのかたち」(円柱)
C「さいころのかたち」(立方体)
D「はこのかたち」(直方体)
答えの順序が違っていても正解です。
- 2 「つつのかたち」と「ぼうるのかたち」は、転がる形です。
- 3 写した形は、見えている面ではなく、紙と接している面の形になります。

ぴったり2

- 1 形の特徴から、立体を整理できるようにするとよいでしょう。
- 2 平らな面(平面)があると積むことができます。①の「つつのかたち」も立てると積めることに気づかせましょう。
答えの順序が違っていても正解です。
- 3 「はこのかたち」の面は、「ながしかく」(長方形)か「ましかく」(正方形)です。実際に同じような立体を使って面の形を写してみるとよいでしょう。
答えの順序が違っていても正解です。

ぴったり3

- 1 ボールは、「ぼうるのかたち」、箱(立方体)は、「さいころのかたち」です。
缶ジュースと缶詰は、底面と高さのバランスが違いますが、ともに「つつのかたち」、ティッシュの箱とラップの箱も、縦・横・高さのバランスが違いますが、ともに「はこのかたち」です。抽象化して立体を捉えられるようにしていくと、2年生以降の学習につながります。

- 2 3 写した形から、「まる」(円)、「さんかく」(三角形)、「しかく」(四角形)などを見出せると、「18 かたちづくり」の学習につながります。

おうちのみなへ

身の回りにある形を紙に写し、その形を仲間分けさせてみましょう。

- 4 ①曲面がある立体と、曲面がない立体という内容が書けていれば正解です。

13 ひきざん

ぴったり1

66 ページ

① 14-9の けいざんの しかたを しらべましょう。

① 4から 9は ひけない。

② 14を 10と 4に わける。

③ 10から 9を ひくと 1。

④ 1と 4で 5。

しき $14-9=5$

こたえ 5

② 13-4の けいざんの しかたを しらべましょう。

① 3から 4は ひけない。

② 13から ばらの 3を ひくと 10。

③ 10から 1を ひくと 9。

しき $13-4=9$

こたえ 9

ぴったり2

67 ページ

① けいざんを しましょう。

① $11-8=3$ ② $12-7=5$

③ $13-9=4$ ④ $14-8=6$

② けいざんを しましょう。

① $14-5=9$ ② $11-3=8$

③ $12-4=8$ ④ $13-5=8$

③ いぬが 11ぴき、ねこが 4ひき います。いぬは、ねこより なんびき おおいでしょうか。

しき $11-4=7$ こたえ 7ひき

④ おなじ こたえの かあどを、せんで おすびましょう。

$14-6$ $15-9$ $16-9$ $11-7$

$15-8$ $13-7$ $12-8$ $15-7$

ぴったり3

68~69 ページ

① に あう かずを かきましょう。

① $13-8$ ① 3から 8は ひけない。

$13-8$ ② 13を 10と 3に わける。

10 3 ③ 10から 8を ひいて 2。

② $12-3$ ④ 2と 3で 5。

$12-3$ ① 2から 3は ひけない。

2 1 ② 3を 2と 1に わける。

③ 12から 2を ひいて 10。

④ 10から 1を ひいて 9。

② $17-8=9$ ② $12-5=7$

③ $13-6=7$ ④ $11-6=5$

⑤ $14-9=5$ ⑥ $16-7=9$

⑦ $18-9=9$ ⑧ $11-9=2$

③ $12-9=3$ しき $12-9=3$

こたえ (3こ)

④ きりんが 6とう、しまうまが 15とう います。どちらが なんとう おおいでしょうか。

しき $15-6=9$

こたえ しまうまが 9とう おおい。

⑤ えを みて、 $11-5$ の しきに なる もんだいを、「ねこが」につづけて かきましょう。

ねこが(れい)11ぴき います。

5ひき いなく なると、

のこりは なんびきに

なりますか。

ぴったり1

- ① (2けた)-(1けた)で、繰り下がりのあるひき算です。ひく数が大きいので、ひかれる数を「10といくつ」に分け、10からひいて、「いくつ」をたします。
- ② (2けた)-(1けた)で、繰り下がりのあるひき算です。ひかれる数の一の位の数とひく数の差が小さいので、ひく数を分解して、2回に分けてひきます。

ぴったり2

- ① ① 11から8はひけない。11を10と1に分ける。10から8をひくと2。2と1で3。
- ② ① 4から5はひけない。14を10と4に分ける。10から4をひくと6。6と1をひいて7。
- ③ 求差の場面です。ひき算で求めます。正しく式に書きましょう。
- ④ ひき算の計算カードの式を見て、答えを言う練習をしましょう。

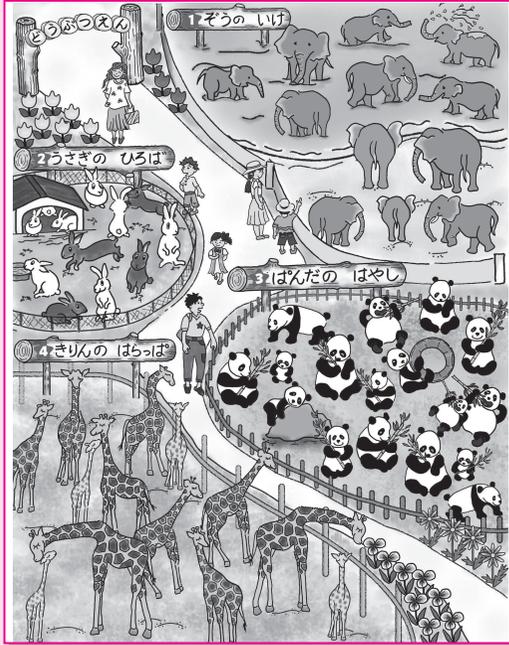
ぴったり3

- ① ① ひかれる数を分けます。13-8
- $10-8=2$ 10 3
- $2+3=5$
- ひいて、たします。
- ② ひく数を分けます。12-3
- $12-2=10$ $12-3$
- $10-1=9$ 10 1
- ひいて、ひきます。
- ② ⑦ 計算しやすい方法で考えましょう。
- $18-9$ $18-9$
- 10 8 8 1

- ③ 求残の場面です。ひき算で求めます。正しく式に書きましょう。
- ④ 求差の場面です。ひき算で求めます。
- ⑤ 問題を読んで、式に書くことができるようになったら、逆に、式から問題をつくる練習をしましょう。文章⇄式⇄図(算数ブロック操作など)を自由に行き来できるようになるとよいでしょう。

どんな けいさんに なるのかな?

70~71 ページ



いけに 5 とう くと、みずあびを して いる ぞうは なんとうに なりますか。

しき $7+5=12$



いま、いけは なんとう いるかな?

こたえ (12 とう)

うさぎは ぜんぶで 16 ひき います。こやの なかには、なんびき いますか。

しき $16-9=7$



こやの せとに、 なんびき いるかな?

こたえ (7 ひき)

ささを もって いる ぱんだと もって いない ぱんだでは、どちらが なんとう おおいでしょうか。

しき $11-6=5$

こたえ ささを もって いる ぱんだが、 5 とう おおい。

おとなと こどもを あわせると、きりんは みんなで なんとうに なりますか。

しき $9+4=13$

えを みて、 ほかの きんぐも つくって みよう。



こたえ (13 とう)

問題文を読みましよう。増加の場面です。たし算で求めます。

絵を見て、池で水浴びをしているゾウは、何頭いるか数えます。7頭いて、そこへ5頭来るので、式は、 $7+5=12$ になります。

求補の場面です。ひき算で求めます。小屋の外にいるウサギは9羽(匹)います。ウサギは全部で16羽(匹)いるので、式は、 $16-9=7$ になります。

求差の場面です。ひき算で求めます。

笹を持っているパンダは11頭、笹を持っていないパンダは6頭いるので、式は、 $11-6=5$ になります。

合併の場面です。たし算で求めます。おとなのキリンは9頭、子どものキリンは4頭いるので、式は、 $9+4=13$ になります。

おうちのかなへ

絵の中には、動物のほかに花があります。花の絵を見て、問題づくりをさせてみましょう。

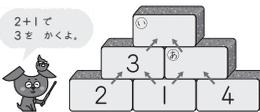
けいさん ぴらみっど

72~73 ページ

つぎの やくそくに したがって かずを いれます。

〈やくそく〉

となりどうしの かずを たします。こたえは、うえの ますに かきます。



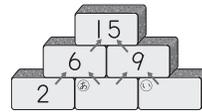
□に あう かずを かきましよう。

① となりどうしの かずを たして、うえの ますに こたえを かくから、㊦に はいる かずは、 $1+4=5$ で、5 です。

② ㊦に はいる かずは、 $3+5=8$ で、8 です。

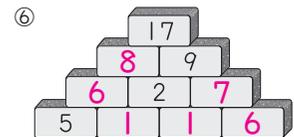
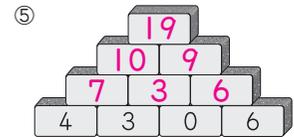
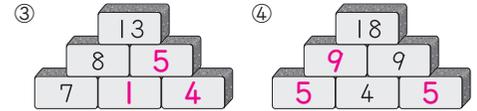
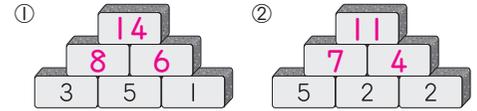
□に あう かずを かきましよう。

① 2 と ㊦に はいる かずを たすと 6。 $2+㊦=6$ だから、㊦は 4 です。



② ㊦と ㊧に はいる かずを たすと 9。 $㊦+㊧=9$ だから、㊧は 5 です。

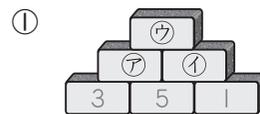
まずに あてはまる かずを かきましよう。



下から順に考えます。

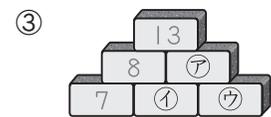
いちばん下の数がわからないので、上から考えます。

㊦→㊧→㊨→㊩→㊪の順に、まずに入る数を考えていきます。(考え方は、他にもあります。)



㊦ $3+5=8$ ㊧ $5+1=6$

㊨ $8+6=14$



㊦ $13-8=5$ ㊩ $8-7=1$

㊪ $5-1=4$



㊦ $17-9=8$ ㊩ $8-2=6$

㊪ $9-2=7$ ㊥ $6-5=1$

㊪ $2-1=1$ ㊫ $7-1=6$

14 おおきい かず

ぴったり1

74 ページ

◎めあて
20より大きい数を数えたり、書いたりできるようにします。

1 かずを かぞえましょう。

10が3こで **30**。
30と5で **35**です。

◎めあて
2けたの数の構成を理解します。

2 □にあうかずをかきましょう。

▶57をあらわします。

① 57は、10が **5** こと 1が **7** こ
② 57は、十のくらいが **5**、一のくらいが **7**
▶60をあらわします。

③ 60は、10が **6** こ
④ 60は、十のくらいが **6**、一のくらいが **0**

ぴったり2

75 ページ

1 かずを かぞえましょう。

① **63**
② **50**

2 □にあうかずをかきましょう。

① 10が8こで **80**、1が9こで **9**、80と9で **89**
② 10が4こで **40**
③ 74は、10が **7** こと 1が **4** こ
④ 30は、10が **3** こ
⑤ 十のくらいが5、一のくらいが1のかずは **51**
⑥ 90の十のくらいのすうじは **9**、一のくらいのすうじは **0**

ぴったり1

- 1 20より大きい数は、10のまとまりが何個と、ばらが何個で数えます。十の位の数字は、10のまとまりが何個あるかを表していることをしっかり理解します。
- 2 2けたの数のしくみを理解します。2けたの数の読み方や書き方を確認しましょう。

ぴったり2

- 1 ①10のまとまりが6個で、60。ばらが3。
60と3をあわせて、63。
②10のまとまりが5個で、50。
- 2 2けたの数の左の位を十の位、右の位を一の位といいます。十の位の数字は10のまとまりの個数を、一の位の数字はばらの個数を表しています。
- ①10が8個で80、1が9個で9、80と9で89と書きます。809と書かないように注意しましょう。

ぴったり1

76 ページ

◎めあて
100という数がわかるようにします。

1 かずを かぞえましょう。

10のまとまりが10こだよ。

① 10が10こで、**100**と書きます。
② 100は、99より **1** おおきいかずです。

◎めあて
数直線(かずのせん)で、100までの数の並び方がわかるようにします。

2 かずのせんをみて、□にあうかずをかきましょう。

③ □にあうかずをかきましょう。

① 45より3 おおきい かずは **48**
② 87より4 ちいさい かずは **83**

ぴったり2

77 ページ

1 かずを かぞえましょう。

2 かずのせんをつかってしらべましょう。

① 59より4 おおきい かず **(63)**
② 71より2 ちいさい かず **(69)**

3 おおきいほうに○をかきましょう。

① **60** **56** ② **78** **87**
(○) () () (○)

4 □にあうかずをかきましょう。

① **94** **95** **96** **97** **98** **99** **100**
② **40** **50** **60** **70** **80** **90** **100**
③ **100** **95** **90** **85** **80** **75** **70**

ぴったり1

- 1 ①10が10個で100(百)です。
②100は99の次の数です。「100までの数の表」で確認しましょう。
- 2 「かずのせん」(数直線)で、100までの数の並び方を理解しましょう。
- 3 「かずのせん」(数直線)を使って考えます。右へ進むと数が大きくなり、左へ進むと数が小さくなります。

ぴったり2

- 1 10のまとまりが9個と、ばらが10個なので、10のまとまりが10個で、100です。
- 2 ①59から、右へ4進むと、63です。
②71から、左へ2進むと、69です。
- 3 「かずのせん」(数直線)を使って考えます。右のほうにある数ほど、大きくなります。
- 4 連続している数の並びから考えます。
②10ずつ増えています。
③5ずつ減っています。

ぴったり1

78 ページ

① かずを かぞえましょう。

100 と 2 で ひやくにと いい、
102 と かきます。

ひやくには、1002 とは かきません。

② 100 と 13 で ひやくじゅうさんと いい、
113 と かきます。

② □ に あう かずを かきましよう。

① 99 100 101 102 103
② 112 113 114 115 116
③ 119 120 121 122 123

ぴったり2

79 ページ

① かずを かぞえましよう。

① 104
② 117
③ 120
④ 124

② かずを すうじで かきましよう。

① ひやくいち(101) ② ひやくじゅう(110)

③ □ に あう かずを かきましよう。

① 107 108 109 110 111
② 118 119 120 121 122

ぴったり1

80 ページ

① 45 は 40 と 5 です。

① 40 に 5 を たした かず
 $40+5=45$

② 45 から 5 を ひいた かず
 $45-5=40$

② けいさんの しかたを かんがえましよう。

① $20+30$ ② $40-20$

10 の たばが 2 こ と 3 こで 5 こ。 2 こを ひいて 2 こ。
 $20+30=50$ $40-20=20$

ぴったり2

81 ページ

① けいさんを しましよう。

① $30+8=38$ ② $60+9=69$
③ $57-7=50$ ④ $92-2=90$

② けいさんを しましよう。

① $24+2=26$ ④ $27-2=25$
② $55+3=58$ ⑤ $76-3=73$
③ $62+7=69$ ⑥ $97-4=93$

③ けいさんを しましよう。

① $30+40=70$ ② $70+30=100$
③ $80-50=30$ ④ $100-60=40$

ぴったり1

- ① 100 より大きい数のしくみを理解します。
100 といくつか考えます。読み方や書き方をしっかり練習しましょう。
- ② 100 より大きい数の並び方を理解します。
- ① | ずつ増えています。
102 の次は、100 と 3 で 103 です。
- ③ | ずつ増えています。
120 の次は、100 と 21 で 121 です。

ぴったり2

- ① ① 10 のまとまりが 9 個と、ばらが 14 枚なので、10 のまとまりが 10 個とばらが 4 枚になります。
10 のまとまりが 10 個で、100。
100 と 4 をあわせて、104 です。
④ 100 と 24 をあわせて、124 です。
- ② ① 100 | と書かないように注意しましょう。
- ③ 120 程度までの数の並びは、すらすら言えるようになるまで、くり返し練習しておきましょう。

ぴったり1

- ① 「何十といくつ」をもとにした計算のしかたを理解します。
- ② 「10 の束がいくつ」をもとにした計算のしかたを理解します。

ぴったり2

- ② 「何十といくつ」をもとにして考えて、ばらの数を計算します。
- ② 55 は、50 と 5。
5 に 3 をたして 8。
50 と 8 で 58。
- ⑤ 76 は、70 と 6。
6 から 3 をひいて 3。
70 と 3 で 73。
- ③ ④ 10 の束が 10 個と 6 個で、10 個から 6 個をひいて 4 個だから、40。

ぴったりに3

82~83 ページ

知識・技能 / 80てん

1 かずを かぞえましょう。 1つ5てん(10てん)

① ②

40 72

2 に あう かずを かきましよう。 ①②③④はぜんぶで 1も5てん(20てん)

① 10が 9こと、1が 6こで 96

② 10が 10こで 100

③ 35は、10が 3こと 1が 5こ

④ 84の 十のくらの すうじは 8、
一のくらの すうじは 4

3 おおきい ほうに ○を かきましよう。 1つ5てん(10てん)

① ②

() (○) () (○)

4 したの かずのせんで、あ、い の めもりが
あらかずは いくつですか。 1つ5てん(10てん)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120

あ (59) い (115)

5 けいさんを しましよう。 1つ5てん(30てん)

① $70+2=72$ ② $46-6=40$

③ $34+5=39$ ④ $85-2=83$

⑤ $60+20=80$ ⑥ $100-50=50$

思考・判断・表現 / 20てん

6 //ならびかた しらべ// を みて、
こたえましよう。 1つ10てん(20てん)

① の れつの かずは、
どんな ならびかたですか。

(れい) ・10ずつ おおきくなっている。
・一のくらのが 8 になっている。

② の まんなかの ①の かずは
いくつですか。 (74)

15 どちらが ひろい

ぴったりに12

84 ページ

①めねて
単位を決めて、そのいくつ分で広さが比べられるようにします。 れんしゅう

1 どちらが どれだけ ひろいでしょうか。

あ の の

こたえ あ の ほうが の 2 ぶん ひろい。

1 ひろい ほうに ○を かきましよう。

あ

(○) ()

2 じんとりあそびを
しました。
どちらの かちですか。

あや ひろむ

さようかしよ106ページ

はしを きちんと そろえる。

さようかしよ107ページ

あやさん... ます ▶ひろむさん... ます

こたえ さんの かち。

ぴったりに3

85 ページ

知識・技能 / 70てん

1 ひろい ほうに ○を かきましよう。 1つ20てん(40てん)

① ②

あ (○) い ()

2 ひろい じゆんに あ、い、うを
かきましよう。 (30てん)

あ い う

(あ → う → い)

思考・判断・表現 / 30てん

3 じんとりあそびを
して います。それぞれ
あと なんます ぬると、
ひきわけに なりますか。

ゆきの ひびと

ぜんぶで 30てん

▶ゆきのさん ▶ひびとさん
(1 ます) (3 ます)

ぴったりに3

- 「10のまとまりが何個と、ばらが何個」と唱えながら数えましょう。
①ばら 10個を線で囲んで、10のまとまりをつくりましょう。
10のまとまりが4個です。
- ②10のまとまりが10個で、100(百)です。
- 「かずのせん」(数直線)を使って考えます。
②95は100より小さく、111は100より大きいから、111のほうが大きいです。

- ④あ60より、1目盛り左なので59。
- ⑤②46は、40と6。
6から6をひいて0だから、40。
- ⑥①あ(れい)の列だけでなく、他の縦の列も見てみて、どの列も、それぞれ一の位に同じ数が並んでいることや、上から下へ10ずつ増えていることに気づかせましょう。
②い(れい)の上下左右の数も答えてみましょう。

ぴったりに1

- 単位を決めて、そのいくつ分でどちらがどれだけ広いかを比べます。

ぴったりに2

- 2つのものを端をそろえて重ね、広さを比べています。
- ます(方眼)を単位として、広さを「ますいくつ分」と表して比べています。「ますいくつ分」と数値化すると、広さを数の大小で比べられます。

ぴったりに3

- あは12個分、い(れい)は9個分、う(れい)は10個分です。
- 図を見ると、ゆきのさんは9ます、ひびとさんは7ます塗っています。全部で20ますあるので、2人とも10ますずつ塗ると引き分けです。
ゆきのさん... $10-9=1$ あと1ます
ひびとさん... $10-7=3$ あと3ます

おうちのかたへ

広さの比べ方の理解を深めるために、実際に陣取り遊びをするのもよいでしょう。

16 なんじなんぷん

ぴったり12

86 ページ

① みじかい はりで、なんじかを よみます。

3じ 3じ30 ぶん 4じ 4じ1 ぶん

② ながい はりで、なんぷんかを よみます。なんぷんと よむか、□に すうじを かきましよう。

① とけいを よみましよう。

9じ25 ぶん 1じ52 ぶん

ぴったり3

87 ページ

① とけいを よみましよう。

5じ50 ぶん 11じ18 ぶん

② ながい はりを かきましよう。

3じ10 ぶん 7じ45 ぶん

③ とけいの よみかたを まちがって います。ただしく よみましよう。

8じ40 ぶん

ビルを つくろう

88~89 ページ

① いろいろな □ を つかって ビルを つくりましよう。したの やくそくを よんで ビルを つくりましよう。

〈やくそく〉

- ① しかくの ビルを つくる。
- ② いろいろ 1まいを 1つの へやにする。
- ③ ぜんぶの いろいろたを つかう。
- ④ いろいろたは、くっつけて ならべる。

9まいの いろいろたを つかうと、みぎのようなビルが できます。

1つの かいに 3へやある、3かいだてのビルが できます。しきに かくと、 $3+3+3=9$ です。

① 10まいの いろいろたで ビルを つくりましよう。□に あう かずを かきましよう。

① ゆきさんは、1つの かいに 5へや ある

2かいだての ビルを つくりましよう。

しきに かくと、 $5+5=10$ です。

② けんたさんは、1つの かいに 2へや ある

5かいだての ビルを つくりましよう。

しきに かくと、 $2+2+2+2+2=10$ です。

② 12まいの いろいろたで ビルを 2つ つくりましよう。それぞれ しきに かきましよう。

しき $6+6=12$ しき $4+4+4=12$

ぴったり1

- ① 短針で「何時」を、長針で「何分」を読みます。短針が数字と数字の間にある場合は、通り過ぎた数字を、長針はいちばん小さい目盛り(1目盛りは1分)を読みます。

ぴったり2

- ① 短針は9と10の間だから、9時何分です。長針は5を指しているから、25分です。
- ② 長針は50分から2目盛り進んだところだから、52分です。

ぴったり3

- ① 「6じ50 ぶん」と答えないようにしましょう。5と6の間だから、5時何分です。
- ② 「10 ぶん」だから、長針が2を指すようにかきます。「10」を指してしまう間違いがあります。長針はいちばん小さい目盛りで数えることを確認しましょう。
- ③ 短針は8と9の間だから、8時何分です。長針は8を指しているから、40分です。

- ① 10枚の色板を使って、「○部屋で△階建のビル」を作るという問題のねらいは、10という数を「○×△」という構成で捉えることです。色板を並べて考えることで、1年生の児童にも理解しやすくなります。ただ、かけ算はまだ学習していないので、「○を△回たす」式を書いて、答えを求めます。

- ② 12枚の色板を並べる代わりに、方眼にビルの形(長方形)をかきます。
- ・ 6部屋の2階建... $6+6$
 - ・ 4部屋の3階建... $4+4+4$
 - ・ 3部屋の4階建... $3+3+3+3$
 - ・ 2部屋の6階建... $2+2+2+2+2+2$
- 4つのうちの2つが書けていれば、正解です。

17 たしざんと ひきざん

ぴったり1

90 ページ

◎めあて
順番を表す数も、集合を表す数に置き換えると計算ができることを理解します。 れんしゅう

1 さゆなさんは、まえから 4 ばんめに います。さゆなさんの うしろに 5 にん います。みんなで なんにん いますか。

まえ まえから 4 ばんめまでに 4 にん いるね。

しき $4 + 5 = 9$ こたえ 9 にん

◎めあて
異種の数値も、同種の数量に置き換えると計算ができることを理解します。 れんしゅう

2 8 にんが ジュースを 1 ぼんずつ のみます。ジュースは、あと 6 ぼん あります。ジュースは、ぜんぶで なんぼん ありますか。

ひと 8 にんが のび ジュースは 8 ぼんだね。

しき $8 + 6 = 14$ こたえ 14 ぼん

ぴったり2

91 ページ

◎めあて
1 こどもが 10 にん ならんで います。だいちさんは、まえから 7 ばんめに います。だいちさんの うしろには、なんにん いますか。 きょうかしよ113ページ

10 にん
まえ ずの つづきを かごう。

しき $10 - 7 = 3$ こたえ 3 にん

◎めあて
2 いすが 5 こ あります。9 にんが 1 こずつに すわります。いすに すわれない ひとは なんにんですか。 きょうかしよ115ページ

5 こ
いす ずの つづきを かごう。

しき $9 - 5 = 4$ こたえ 4 にん

ぴったり1

- 1 順番を表す数(○番目)を、集合を表す数(○人)に置き換えて考えます。前から4番目までに4人いるので、後ろの5人とあわせると、 $4 + 5 = 9$ になります。
- 2 単位が違うものどうしの計算はできません。ここでは、人の数をもの(ジュース)の数に置き換えて考えます。8人が飲むジュースは8本なので、 $8 + 6 = 14$ になります。

ぴったり2

- 1 ○番目までに何人いるかを考えます。図にかいて考えましょう。だいちさんは7番目なので、だいちさんまでに7人います。全部で10人だから、だいちさんより後ろにいる人は、 $10 - 7 = 3$ で、3人です。
- 2 椅子の数を人の数に置き換えて考えます。図の椅子(△)と人(○)を線で結び、5個の椅子に座る人は5人であることに気づかせます。

ぴったり1

92 ページ

◎めあて
多い数をたし算で求めることを理解します。 れんしゅう

1 あおい ペンが 7 ぼん あります。あかい ペンは、あおい ペンより 4 ぼん おおいそうです。あかい ペンは、なんぼん ありますか。

あおい ペン あかい ペンの かずだけ ○を かごう。

しき $7 + 4 = 11$ こたえ 11 ぼん

◎めあて
2 みかんを 11 こ かいしました。りんごは、みかんより 3 こ すくなく かいしました。りんごは、なんこ かいしましたか。

みかん りんごの かずだけ ○を かごう。

しき $11 - 3 = 8$ こたえ 8 こ

ぴったり1

- 1 図にかいて考えましょう。赤いペンは、青いペン7本より4本多いので、 $7 + 4 = 11$ になります。
- 2 りんごは、みかん11個より3個少ないから、 $11 - 3 = 8$ になります。

ぴったり2

93 ページ

◎めあて
1 おすの さるが 8 ひき います。めすの さるは、おすより 6 ひき おおいそうです。めすの さるは、なんびき いますか。 きょうかしよ116ページ

おす ずの つづきを かいて、めすの さるの かずだけ ○を かごう。

しき $8 + 6 = 14$ こたえ 14 ひき

2 おりがみて つるを おりました。あやさんは 12 こ おりました。れんさんは、あやさんより 5 こ すくなく かったそうです。れんさんは、なんこ おりましたか。 きょうかしよ117ページ

あや ずの つづきを かいて、れんさんが おった かずだけ ○を かごう。

しき $12 - 5 = 7$ こたえ 7 こ

ぴったり2

- 1 図にかいて、場面を正しく捉え、式に書きましょう。
おす 8 ひき
めす おすとおなじ 8 ひき おすより おおい 6 ひき
 - 2 りんごは、みかん11個より3個少ないから、 $11 - 3 = 8$ になります。
- 雄の8匹と同じ8匹に、雄より多い6匹をたすと、雌は、 $8 + 6 = 14$ で、14匹と求められます。
- 2 れんさんが折った数だけ○を書いて、図のどこが答えになるのかをしっかりと捉えましょう。

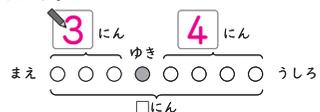
ぴったり1

94 ページ

①めあて

場面を図に表して、いろいろな式に表すことができるようにします。

1 おみせのまえにひとがならんでいます。ゆきさんのまえに3にん います。ゆきさんのうしろに4にん います。みんなでなんにん ならんで いるかをかんがえます。



① さいしょに まえの3にんと うしろの4にんを たして、こたえを もとめましょう。

しき $3 + 4 + 1 = 8$ こたえ 8 にん

② さいしょに まえの3にんと ゆきさんを たして、こたえを もとめましょう。

しき $3 + 1 + 4 = 8$ こたえ 8 にん

ゆきさんを たすのを わすれないように しよう。

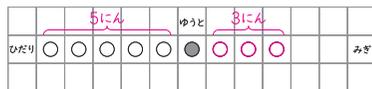


ぴったり2

95 ページ

1 こどもが よこいちれつに すわって います。ゆうとさんの ひだりに5にん います。ゆうとさんの みぎに3にん います。みんなで なんにん すわって いるかをかんがえます。

① ずの つづきを かきましよう。



② さいしょに ひだりの5にんと みぎの3にんを たして、こたえを もとめましょう。

しき $5 + 3 + 1 = 9$

こたえ 9 にん

③めあて

3 りかさんは、 $5 + 1 + 3 = 9$ という しきをつくりました。りかさんは、どんな じゆんに たして いますか。つづきを かきましよう。

さいしょに (れい) ひだりの5にんと ゆうとさんを たして、それに みぎの3人を たしている。

ぴったり3

96~97 ページ

思考・判断・表現

1 ゆうきさんは、まえから5ばんめに います。ゆうきさんの うしろに7にん います。



みんなで なんにん いますか。

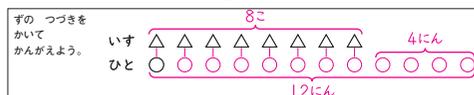
しき $5 + 7 = 12$

こたえ 12 にん

2 いすが8こ あります。12にんで いすとりにゲームを します。



いすに すわれない ひと は なんにん ですか。



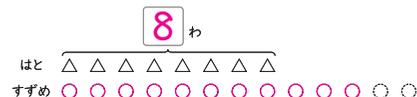
しき $12 - 8 = 4$

こたえ 4 にん

3 はとが8わ います。

すずめは、はとより3わ おおく います。

① すずめの かずだけ ○ を かきましよう。また、□ に あう かずを かきましよう。

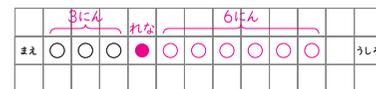


② すずめは、なんわ いますか。

しき $8 + 3 = 11$ こたえ 11 わ

4 てんらんかいの いりぐちに ひとが ならんで います。

れなさんの まえに3にん います。れなさんの うしろに6にん います。みんなで なんにん ならんで いますか。ずの つづきを かいて、1つの しきに あらわして こたえましよう。



しき $3 + 6 + 1 = 10$
($3 + 1 + 6 = 10$) こたえ 10 にん

ぴったり1

1 問題文をよく読み、場面を図に表し、式に書いて答えを求めます。

①最初に前の3人と後ろの4人を たして、それにゆきさんのひとり(1)をたすので、式は、 $3 + 4 + 1 = 8$ になります。

②最初に前の3人とゆきさんのひとり(1)をたして、それに後ろの4人をたすので、式は、 $3 + 1 + 4 = 8$ になります。

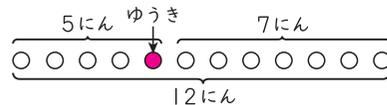
ぴったり2

① ②最初に左の5人と右の3人を たして、それにゆうとさんのひとり(1)をたすので、式は、 $5 + 3 + 1 = 9$ になります。

③考え方は1つではありません。自分の考えと別の考えで立てた式の意味も考えられるようになりましよう。

ぴったり3

1 問題のイラストは、場面の部分しか 描いていません。○を使った図を自分で簡単にかいて考えるとよい でしょう。



2 椅子が8個あるので、8人が座れる と考えます。全部で12人いるので、 $12 - 8 = 4$ になります。

3 ②スズメは、はとより3羽多いので、 $8 + 3 = 11$ になります。

4 式に書いたら、その式の意味を、言葉で説明させるとよいでしょう。
 $(3 + 6 + 1 = 10)$
最初に前の3人と後ろの6人を たして、それにれなさんのひとり(1)をたしている。
 $(3 + 1 + 6 = 10)$
最初に前の3人とれなさんのひとり(1)をたして、それに後ろの6人を たしている。

18 かたちづくり

ぴったり1

98 ページ

色板を使って、いろいろな形を作れるようにします。

1 したの かたちは、あ の いろいろが なんまいで できますか。

① 8まい ② 9まい ③ 13まい

いろいろなかたちにせんを かこう。いろいろなかきかたがあるよ。

かぞえぼうをならべると、いろいろなかたちが つくれるね。

数え棒を使って、いろいろな形を作れるようにします。

2 かぞえぼうで、したの かたちを つくりました。

△と □は、それぞれ なんこ ありますか。

△が 3こ □が 4こ

△と □は、それぞれ なんこ ありますか。

△ 5こ □ 4こ

・と ・を せんで つないで、おなじ かたちを かきましょう。

ぴったり2

99 ページ

あ の いろいろた 4まいで つくれる かたちを 4つ かきましょう。

かぞえぼうで、いぬの かたちを つくりました。

△と □は、それぞれ なんこ ありますか。

△ 5こ □ 4こ

・と ・を せんで つないで、おなじ かたちを かきましょう。

ぴったり3

100~101 ページ

知識・技能

1 したの かたちは、あ の いろいろたが なんまいで できますか。

① 8まい ② 16まい ③ 6まい

あ の いろいろたを 6まい つかって しかくを つくりましょう。

2 2まい うごかして みぎの かたちに しました。どれと どれを うごかしましたか。

(エ) と (オ)

3 かぞえぼうで、したの かたちを つくりました。

△と □は、それぞれ なんこ ありますか。

△ 8こ □ 4こ

4 ・と ・を せんで つないで、つぎの かたちを つくりましょう。

① さんかく ② しかく

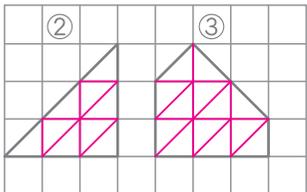
△ 3こ □ 4こ

2まい うごかして みぎの かたちに しました。どれと どれを うごかしましたか。

(エ) と (オ)

ぴったり1

1 ②と③の形に、あの色板の形に区切る線をかいて考えます。



2 数え棒を並べて形を作ると、中の空いた「さんかく」や「しかく」ができます。

△「さんかく」は、向きが変わっても同じ形と考えましょう。

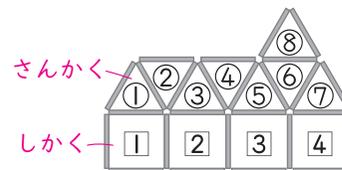
ぴったり2

1 上の図のような形をかいていても正解です。同じ形であれば、向きが違っていても正解です。

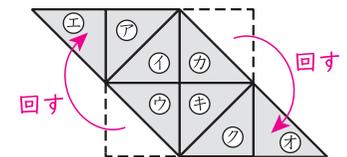
- 2 ◁や ▷も「さんかく」です。
- 3 点と点を、フリーハンドで丁寧に、できるだけまっすぐな線で結びましょう。「しかく」が2つできていることを確認しましょう。

ぴったり3

- 2 上の図のような形をかいていても正解です。同じ形であれば、向きが違っていても正解です。
- 3 下の図のようになります。



- 4 問題にかいてある図形と同じ形の「さんかく」や「しかく」を作っても、形や大きさの違う「さんかく」や「しかく」を作っても、どちらでも正解です。
- 5 下のよう動かしています。



まどめの テスト

102 ページ

1 □に あう かずをかきましょう。
②はぜんぶで 16と10で(30てん)

① 10が 4こ と 1が 9こで **49**

② 43は、10が **4**こ と 1が **3**こ

③ 10が 10こで **100**

2 したの かずのせんで、□に あう かずをかきましょう。
①は10てん(30てん)

① かずのせんの **あ**は **52**、**い**は **108**

② 67は、70より **3**ちいさい かず

3 けいさんを しましょう。
①は5てん(30てん)

① $7+5=$ **12**

② $30+4=$ **34**

③ $10+80=$ **90**

④ $17-9=$ **8**

⑤ $27-7=$ **20**

⑥ $90-50=$ **40**

4 ゆりが 2ほん、ばらが 11ほん あります。どちらが なんほん おおいですか。
しき $11-2=9$ ことえ **ばらが 9ほん おおい。**

ようにしておきましょう。

- ① たされる数を 10にします。
7はあと3で 10だから、5を3と2に分けます。
- ③ 10の束が1個と8個で9個だから、90。
- ④ ひかれる数の 17を 10と7に分けます。
- 4** 求差の場面です。ひき算で求めます。ゆりの本数と、ばらの本数を比べて、大きい数から小さい数をひきます。

- 1** ① 10が4個で40、1が9個で9だから、40と9で49です。
③ 10が10個集まると、100(百)です。
- 2** ① あは、50より2目盛り右なので、52。
い、100より8目盛り右なので、108。
② 67は、70より3目盛り左です。
- 3** 1年生で学習した大切な計算です。間違えたときは、もう一度計算のしかたを確認して、正しく計算できる

まどめの テスト

103 ページ

1 ながい じゆんに **あ**、**い**、**う**をかきましょう。
②は20てん

(い) → (う) → (あ)

2 **あ**と **い**にはいつている みずは、どちらがおおいですか。
②は20てん

(い)

3 じんとりあそびをしました。ひろい ほうがかちです。どちらが かちましたか。
②は20てん

ゆうた (さん) **7** **みき** (さん) **5**

4 とけいを よみましょう。
①は40てん(40てん)

① **4じ40ぶん**

② **10じ23ぶん**

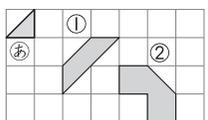
- 3** ゆうたさんとみきさんが塗った広さを、「ますいくつ分」と表して比べます。数値化すると、広さを数の大小で比べられて便利です。
ゆうたさんは7ます分、みきさんは5ます分です。
ゆうたさんの塗った広さのほうが広いです。
- 4** 短針で「何時」、長針で「何分」を読みます。
- ① 短針は4と5の間だから、4時何分です。長針は「8」を指しているから、40分です。
- ② 長針は20分から3目盛り進んだところだから23分です。

- 1** 方眼のますを単位として、**あ**、**い**、**う**の長さを、「ますいくつ分」と表して比べます。
あは5つ分、**い**は8つ分、**う**は6つ分です。
- 2** コップを単位として、**あ**と**い**のかさを、「コップいくつ分」と表して比べます。
あは7杯分、**い**は9杯分です。

① おなじ かたちの
なかまを せんで
むすびましょう。



② したの かたちは、㊦の
いろいろが なんまいで
できますか。



① ②
(3まい) (5まい)

③ かずを わかりやすく
せいりします。



① くだもの かずだけ
いろを ぬりましょう。

いちご	かき	もも	すいか

② いちばん おおい
ものは どれですか。
(いちご)

この絵を下から順に塗っていき、
塗った絵の長さを比べることで、
それぞれの果物の多い少ないが
一目で分かります。

② 絵グラフの長さから、いちばん多い
のは、イチゴだとわかります。
イチゴは5、カキは3、モモは2、
スイカは2だから、数の大きさを
比べて答えても正解です。

- ① 形や大きさ、色、材質などが違っていても、「つつのかたち」(円柱)、「はこのかたち」(直方体)、「ボールのかたち」(球)と捉えられるようにしましょう。
- ② ①と②の形に、㊦の色板の形に区切る線をひいて考えましょう。
- ③ ①果物を種類別に数え、それぞれの数だけ色を塗ります。
表の絵は、いろいろな果物がだいたい同じ大きさで、1つずつますの中に入っています。

知識・技能 / 65てん

1 かずを すうじで かきましよう。 1つ4てん(12てん)

①  4

②  5

③  8

2 □に あう かずを かきましよう。 1つ4てん(8てん)

① 10は 4と 6

② 6は 1と 5

3 かずの おおきい ほうに ○を かきましよう。 1つ4てん(8てん)

①

3	8
()	(○)

 ②

10	2
(○)	()

4 □に あう かずを かきましよう。 1つ4てん(8てん)

①

2	3	4	5
---	---	---	---

②

10	9	8	7
----	---	---	---

5 せんで かこみましよう。 1つ4てん(8てん)

① まえから 2ひきめ

② まえから 2ひき

6 けいさんを しましよう。 1つ4てん(16てん)

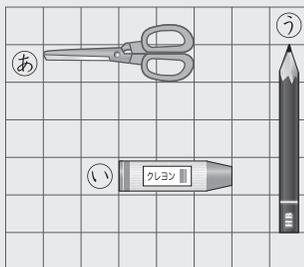
① $4+2=6$

② $7+0=7$

③ $9-2=7$

④ $8-8=0$

7 ながい じゅんに あ、い、うを かきましよう。 (5てん)



(う) → (あ) → (い)

1 具体物(絵)の数を数字で書く問題です。

①「りんごの数はいくつかな。」と問い、「し」と唱えさせながら、「4」と書くようにさせましよう。

2 ①「10はいくつといくつ」を考える問題です。

②「6はいくつといくつ」を考える問題です。

3 10までの数の大小を比べる問題です。

4 10までの数の系列を考える問題です。

①2、3、4と連続していることから、左から右へ1ずつ大きくなっていることがわかります。

「2、3、4、5、……」のように唱えながら、□に数を書くようにします。

②8、7と連続していることから、左から右へ1ずつ小さくなっていることがわかります。

「10、9、8、7、……」のように唱えながら、□に数を書くようにします。

5 前後に関わる順序や位置の問題です。

①「前から2匹目」で囲むのは、1匹だけです。

②「前から2匹」で囲むのは、2匹です。

6 繰り上がりのないたし算や、繰り下がりのないひき算ができるかを

確かめる問題です。

まだ、念頭で考えられない場合は、算数ブロックの操作を十分に経験させて、ブロックがなくても計算できるように、繰り返し練習させるとよいでしょう。

7 方眼のますを単位として、ものの長さを「ますいくつ分」と表して比べています。長さを「ますいくつ分」と数値化すると、長さを数の大小で比べられます。

8 えをみて きたえましょう。



ひだりからも みぎからも
3ばんめの くだものは、なんですか。
(5てん)

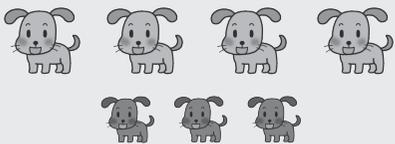
めろん

9 あめが 6こ あります。
ぐみが 9こ あります。
どちらが なんこ おおいでしょうか。
しき・きたえ 1つ5てん(10てん)

しき $9 - 6 = 3$

きたえ ぐみ が
3 におおい。

10 えをみて、 $4 + 3 = 7$ の しきに
なる おはなしを つくりましょう。
(5てん)



(れい)おおい いぬが 4ひき います。
ちいさい いぬが 3ひき います。
いぬは ぜんぶで 7ひき います。

11 ゆうたさんの くつばこは、
どこですか。
ただしい ことばを せんで
かこみましょう。
1つ5てん(10てん)

たつき	あゆ	しょう	りく
まお	えみ	さやか	つむぎ
さとる	かな	ゆうた	まい
あお	あきと	よしの	たくみ

ゆうたさんの くつばこは、
(うえ、した) から 2ばんめで
(ひだり)、みぎ から
3ばんめです。

12 あやさんは したのようにつくえの
よこの ながさを はかって、「えんぴつの
4つぶんです。」と いいました。
あやさんの かんがえは ただしい
ですか、ただしく ないですか。わけも
かきましょう。
(5てん)



ただしいか、ただしく ないか。
ただしく ない。
わけ
(れい)ちがう ながさの えんぴつで
くらべて いるから。

8 左右に関わる順序や、位置の表し方
についての問題です。左右を正しく
認識できているかどうかを確かめま
しょう。

9 求差の場面で、ひき算の式をつくり、
問題を解決できるかどうかを確かめ
る問題です。

演算を決めるキーワードになる語句
(なんこおおい)に下線を引いたり、
式に使う数字に○をつけるなどする
とよいでしょう。また、問題文に
出てきた数の順に式をつくり、
「6-9」としないように、
数は大きいほうから小さいほうを
ひくことに、注意します。

10 「たし算の式になるお話」をつくる
問題です。絵を見て、4と3になる
ものをそれぞれ探します。

うえ

たつき	あゆ	しょう	りく
まお	えみ	さやか	つむぎ
さとる	かな	ゆうた	まい
あお	あきと	よしの	たくみ

ひだり みぎ

した

上下、左右を正しく認識できている
かを確かめます。ゆうたさんの靴箱
の位置の表し方は他にもあるので、
別の表し方も考えさせてみるとよい
でしょう。

12 鉛筆などを単位とすれば、身の回り
にあるものの長さを数値化すること

ができます。そのときに使用する
鉛筆は同じ長さでなければならない
ので、図のようなはかり方は正しく
ありません。長い鉛筆4本分と短い
鉛筆4本分とは、同じ4本分でも
長さが違うことを確認しましょう。



ふゆのチャレンジテスト

きょうがしよ ②32-89ページ

なまえ

月 日

しかん
40ぶん

ごうかく80てん

/100

こたえ 31ページ

知識・技能 /55てん

1 □にあう かずをかきましょう。

1つ3てん(6てん)

- ①

14	16	18	20
----	----	----	----
- ②

13	12	11	10
----	----	----	----

2 けいさんを しましょう。

1つ3てん(30てん)

- ① $10+5=$

15

- ② $17-7=$

10

- ③ $13+4=$

17

- ④ $16-5=$

11

- ⑤ $3+7+9=$

19

- ⑥ $12-2-6=$

4

- ⑦ $4+7=$

11

- ⑧ $9+8=$

17

- ⑨ $11-9=$

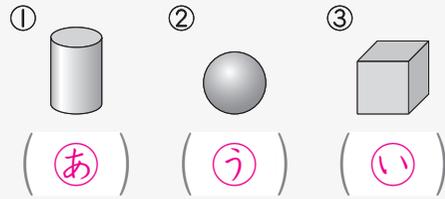
2

- ⑩ $16-8=$

8

3 おなじ かたちの なかまを、
したから えらび、あ、い、う、えで
こたえましょう。

1つ3てん(9てん)



4 とけいを よみましょう。

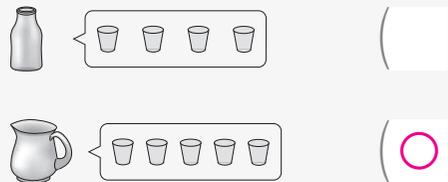
1つ3てん(6てん)



5 はいる みずが おおい ほうに

○をかきましょう。

(4てん)



- 1 ①2とびです。「2、4、6、8、10、12、14、16、18、20」と唱えながら、□に数を書きましょう。
- ②「13、12、11、10」と唱えながら、□に数を書きましょう。
- 2 ①～④「10といくつ」という数の構成をもとに考えるたし算・ひき算です。
- ⑤⑥3つの数のたし算・ひき算です。前から順に計算します。
- ⑦～⑩繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算です。この計算が確実に、すらすらとできるようになることが、1年生の算数の1つの目標です。
- 3 ①は「つつのかたち」、②は「ボールのかたち」、③は「さいころのかたち」です。④は「はこのかたち」です。
- 4 時計を読むときには、短針の位置が基本になるので、短針、長針の順に見ます。
- ①短針は2を、長針は12を指しているから、2時です。
- ②短針は9と10の間だから、小さいほうの数の9を読みます。長針は6を指しているから、9時半です。
- 5 コップを単位として、水のかさをコップ「いくつ分」と表して比べています。「いくつ分」と数値化すると、水のかさを数の大小で比べられます。

上の容器は4杯分、下の容器は5杯分です。

6 きんぎょが 10びき います。
5びき あげました。
つぎに 3びき もらいました。
きんぎょは、なんびきに
なりましたか。
1つの しきに かいて、
こたえましょう。 しき・こたえ 1つ5てん(10てん)

しき $10 - 5 + 3 = 8$

こたえ (8) びき

7 りんごが 9こ あります。
4こ もらいました。
りんごは、ぜんぶで なんこに
なりましたか。 しき・こたえ 1つ5てん(10てん)

しき $9 + 4 = 13$

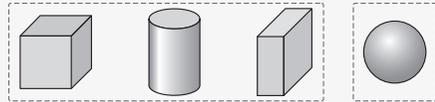
こたえ (13) こ

8 やぎが 15とう います。
こどもの やぎは 8とうです。
おとなの やぎは なんと
いますか。 しき・こたえ 1つ5てん(10てん)

しき $15 - 8 = 7$

こたえ (7) とう

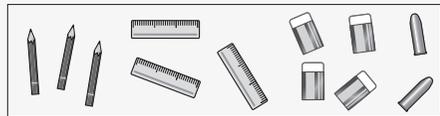
9 さくやさんは、4つの かたちを
したのように 2つの なかまに
わけました。
どのように かんがえて
わけましたか。
あ、い で こたえましょう。 (5てん)



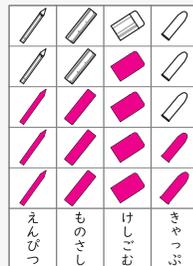
あ たかく つめる かたちと、
つめない かたちに わけた。
い まるい ところがある
かたちと、ない かたちに わけた。

(あ)

10 かずを わかりやすく
せいりします。 ①はぜんぶできて 1もん5てん(10てん)



① ぶんぼうぐの かずだけ いろを
ぬりましょう。



② いちばん おおい ものは
どれですか。

(けしごむ)

6 10匹から5匹減って、3匹増えた
から、1つの式に書くと、
 $10 - 5 + 3 = 8$ です。
 $10 - 5 = 5$ 、 $5 + 3 = 8$ をつなげて、
 $10 - 5 = 5 + 3 = 8$ と書かない
=の左右が等しくない
ように注意しましょう。

7 増加の場面です。たし算で求めます。
正しく式に書きましょう。

8 求補の場面です。ひき算で求めます。
全体の数15から、子どものヤギの
数8をひいた残りが大人のヤギの数
です。

9 まず、分けた形の特徴を考えます。
左…「さいころのかたち」、「つつの
かたち」、「はこのかたち」
右…「ボールのかたち」

次に、あ・いについて考えていきます。
あ…「つつのかたち」は曲面があり
ますが、底面は平面なので、
高く積むことができます。
だから、高く積むことができない
のは「ボールのかたち」だけです。

い…まるいところがある形とない形
に分けるのなら、「つつのかたち」
と「ボールのかたち」が同じ仲間
でなければなりません。

10 ①下から順に色を塗りましょう。
②①でかいた絵グラフの長さを
比べると、消しゴムがいちばん
多いことがわかります。

知識・技能 /60てん

1 □に あう かずを かきましよう。

③はぜんぶてきて 1もん4てん(16てん)

① 10が 5こと 1が 4こで

54

② 10が 6こで 60

③ 75は、10が 7こと

1が 5こ

④ 100は、10が 10こ

2 □に あう かずを かきましよう。

1つ4てん(12てん)

① 44 46 48 50 52

② 82 92 102 112

3 けいさんを しましよう。

1つ4てん(16てん)

① $60+7=67$

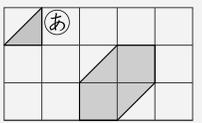
② $88-4=84$

③ $20+50=70$

④ $100-10=90$

4 したの かたちは、あの いろいろたが なんまいで できますか。

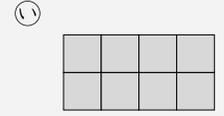
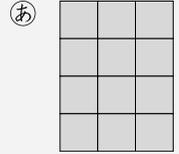
(4てん)



(6)まい

5 ひろい ほうに ○を かきましよう。

(4てん)



(○) ()

6 とけいを よみましよう。

1つ4てん(8てん)



(6じ 20ふん)



(1じ 42ふん)

1 ①10が5個で50、1が4個で4、50と4で54です。

④100は10が10個集まった数です。

2 「かずのせん」(数直線)を使って、数の並び方を確認させましよう。

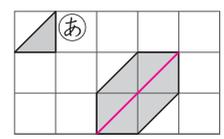
①2とびで唱えてみましよう。

②10とびで唱えてみましよう。

3 ①・②「何十といくつ」をもとにして考えるたし算・ひき算です。

③④「10の束が何個」をもとにして考えるたし算・ひき算です。

4 あの色板の形に区切る線をかいて考えまよう。



5 まず(方眼)を単位として、広さを「ますいくつ分」と表して比べまよう。

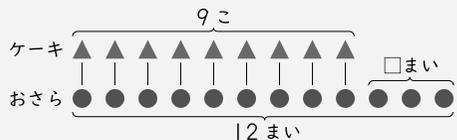
あは12ます分、いは8ます分なので、あが広いことがわかりまよう。

6 短針で「何時」を、長針で「何分」を読みまよう。

①短針は6と7の間だから、6時何分です。長針は4を指しているから、20分です。

②短針は1と2の間だから、1時何分です。長針は40分から2目盛り進んだところだから、42分です。

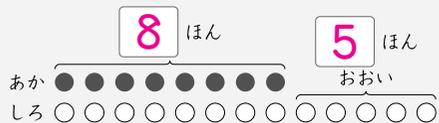
7 ケーキが 9こ あります。
おさらは 12まい あります。
おさらは ケーキを 1こずつ
のせると、おさらは なんまい
あまりますか。 しき・こたえ 1つ4てん(8てん)



しき $12 - 9 = 3$

こたえ (3) まい

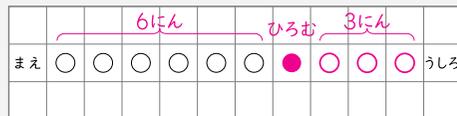
8 あかい はなが 8ほん さいて
います。
しろい はなは、あかい はなより
5ほん おおく さいて います。
しろい はなは、なんぼん さいて
いますか。
ずの □に あう かずを かい
て こたえましょう。 ず・しき・こたえ 1つ4てん(12てん)



しき $8 + 5 = 13$

こたえ (13) ほん

9 ひろむさんの まえに 6にん
います。ひろむさんの うしろに
3にん います。
みんなで なんにん いますか。
ずの つづきを かい
て、1つの
しきに あらわして こたえましょ
う。 ず・しき・こたえ 1つ4てん(12てん)



しき $6 + 3 + 1 = 10$

(または $6 + 1 + 3 = 10$)

こたえ (10) にん

10 ながい はりを かきましょ
う。 1つ4てん(8てん)

① 6じ 15ふん



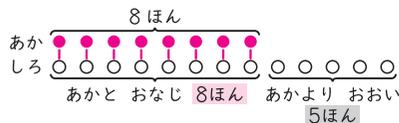
② 4じ 50ふん



7 ケーキの数をお皿の数に置き換えて
考えます。

9個のケーキをのせるお皿は9枚
なので、 $12 - 9 = 3$ になります。

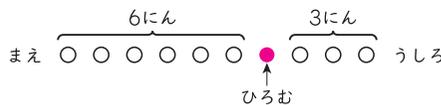
8 図に書いて、場面を正しく捉え、
式に書きましょ



赤い花と同じ8本に、赤い花より
多い5本をたすと、白い花は、
 $8 + 5 = 13$ で、13本です。

9 問題文をよく読み、場面を図に表し、
式に書いて答えを求めます。

「ひろむさんの前に6人います。」
この「6」には、ひろむさんは含まれ
ません。「ひろむさんの後ろに3人
います。」この「3」にもひろむさんは
含まれません。このことをしっかり
理解ましょ



最初に前の6人と後ろの3人を
たして、それにひろむさんのひとり
(1)をたすと考えると、式は、
 $6 + 3 + 1 = 10$ になります。
また、最初に前の6人とひろむさん
のひとり(1)をたして、それに後ろ
の3人をたすと考えると、式は、
 $6 + 1 + 3 = 10$ になります。

10 長針はいちばん小さい目盛り

(1目盛りは1分)を読むことを確認
ましょ

①「15ふん」だから、長針が3を
指すようにかきます。

②「50ふん」だから、長針が10を
指すようにかきます。

1 □に かずを かきましょう。
1つ2てん(4てん)
 ① 10が 3こと 1が 7こで
37

② 10が 10こで **100**

2 □に かずを かきましょう。
□1つ3てん(12てん)
 ① **44** 46 48 **50** 52

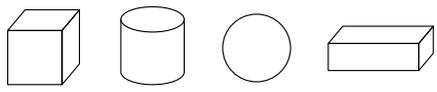
② 100 90 **80** **70** 60

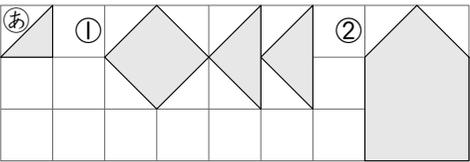
3 けいさんを しましょう。1つ3てん(18てん)
 ① $8+6=$ **14** ② $14-9=$ **5**
 ③ $0-0=$ **0** ④ $30+40=$ **70**
 ⑤ $33+4=$ **37** ⑥ $29-7=$ **22**

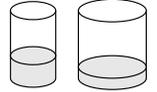
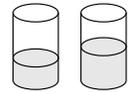
4 11人で キャンプに いきました。
 その うち 子どもは 7人です。
 おとなは なん人ですか。1つ3てん(6てん)
 しき **$11-7=4$**
 こたえ (**4**) 人

5 なんじなんふんですか。 (3てん)

(2じ45ふん)

6 あ～えの なか 中から たかく つめる かたちを すべて こたえましょう。
(ぜんぶできて 3てん)
あ い う え

(あ、い、え)

7 した 下の かたちは、あの いろいろ いたが なんまいで できますか。 1つ3てん(6てん)

 ① (**8**) まい ② (**10**) まい

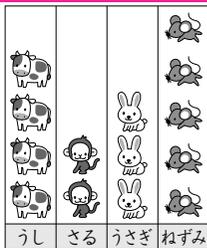
8 みず 水の ただ かさを くらべます。正しい くらべかたに ○を つけましょう。
(4てん)
 ① 
 ()
 ② 
 (**○**)

- ① 10が3個で30、30と7で37です。
 ② 10が10個で100になります。
- 与えられた数の並びから、きまりをみつけ、あてはまる数を求めます。
 ① 2ずつ大きくなっています。
 ② 10ずつ小さくなっています。
- ③ もとの数に0をたしたり、もとの数から0をひいたりしても、答えはもとの数のままです。
 ④ 30は10が3個、40は10が4個だから、 $30+40$ は、10が(3+4)個で、70です。
- あわせて11人いるから、おとなの人数は、全体の人数から子どもの人数をひけば求められます。
- 時計の表す時刻を読み取ります。短針で何時、長針で何分を読みます。「3じ45ふん」とする間違いがよくあります。短針が2と3の間にあることに注意しましょう。
- あとえは、箱の形、いは筒の形で、重ねて積み上げることができます。答えの順序が違っていても正解です。
- 図に線をひいて考えます。四角1マス分の形は、あの色板2枚でつくることができます。
- 同じ大きさの容器を使うと、入った水の水面の高さで比べることができます。

9 どうぶつのかずを しらべて せいりしました。

1つ4てん(8てん)

① いちばん おおい どうぶつは なんですか。



(ねずみ)

② いちばん おおい どうぶつと いちばん すくない どうぶつのは ちがいは なんびきですか。

(3) びき

10 バスでいて バスを まって います。

1つ4てん(12てん)



① まって いる 人は 7人 いて、 みなさんの まえには 4人 ならんて います。みなさんは うしろから なんばん目ですか。

うしろから (3) ばん目

② バスが きました。バスには はじめ 3人 のって いました。この バスでいて まって いる 人 みんなが のり、つぎの バスでいて 5人が おりました。バスには いま なん人 のって いますか。

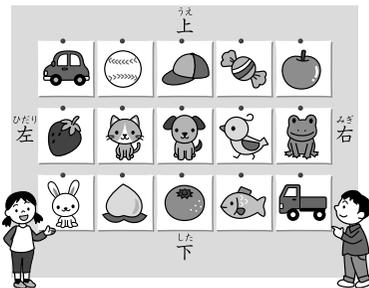
しき $3 + 7 - 5 = 5$

こたえ (5) 人

活用力をみる

11 かべに えを はって います。□にはいる ことばを かきましょう。

□1つ4てん(16てん)



① さかなの えは みかんの えの

(右) に あります。

② いちごの えは 車の えの

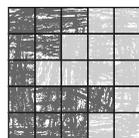
(下) に あります。

③ 犬の えは (みかん) の えの

(上) に あります。

12 ゆいさんと さくらさんは じゃんけんで かったら □を 1つ ぬるばしょとりあそびを しました。どちらが 勝ちましたか。その わけも かきましょう。

1つ4てん(8てん)



□...ゆいさん
■...さくらさん

かったのは (さくら) さん

わけ (れい) さくらさんの ほうが ぬった □の かずが おおいから。

9 数がいちばん多いのはねずみで、いちばん少ないのはさるです。絵グラフの高さから、いちばん多い動物、いちばん少ない動物を読み取ります。

10 ①みなとさんは前から5番目だから、みなとさんの後ろには2人並んでいます。

② $3 + 7 = 10$ 、 $10 - 5 = 5$ と2つの式に分けていても正解です。

11 右、左、上、下を使って、ものの位置をことばで表します。

③犬の位置を表します。「ぼうしのえの下」、「ねこのえの右」、「とりのえの左」と答えていても正解です。

12 わけは、さくらさんのほうが、塗った□の数が多い(塗った場所が広い)ことが書けていれば正解です。ゆいさんが12個、さくらさんが13個□を塗っていると、具体的な説明がついていても正解です。